

北海道市場における平成21年産  
福島県青果物販売の概況  
(果実・野菜)

福島県北海道事務所

## はじめに

平成22年10月26日、農林水産省により「卸売市場整備基本方針」が策定されました。平成23年度から27年度までを計画期間とするこの基本方針では、中央卸売市場のうち、取扱量が多い市場を地域の中核となる「拠点市場」として位置づける一方、地方卸売市場については、他の地方卸売市場との統合や他の卸売市場と連携した集荷・販売活動を推進するとしています。そもそも卸売市場は、地域に食料を供給するという公共的な役割を担っており、今後とも、福北会会員の卸売各社が安定的に経営され、地域への食料供給が安定的に行われることを願ってやみません。

さて、ここに「北海道市場における平成21年産福島県青果物の概況」が完成いたしました。平成21年産本県青果物の道内市場における取扱数量、単価及び売上金額は、いずれも前年並となっております。厳しい販売環境の中、このような実績を残すことができたのも本県産青果物に関わるすべての方々の努力の賜物であると感謝しております。特に本県の最主力品目のももは、果実全体で販売金額が平年を下回った中でも、平年以上の販売金額を達成できました。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

当事務所といたしましては、今後とも、福北会の活動を通じて、北海道への本県産農産物の流通促進に努めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、当概況のとりまとめにご協力いただいた福北会会員各社に感謝申し上げます。当概況が皆様の生産・販売等の参考となれば幸いです。

平成23年3月

福島県北海道事務所

所長 太田 崇弘

# 目 次

I	平成21年福島県産青果物の販売実績等について	1
1	平成21年産青果物取扱実績等について	1
	(1) 取扱実績	
	(2) 市場占有率	
	(3) 品目別取扱額構成	
2	平成22年産入荷期待量調べについて	10
	(1) 果実	
	(2) 野菜	
3	福島県産青果物の過去10年間の取扱実績について	12
	(1) 果実	
	(2) 野菜	
II	主要果実の品目別販売経過	18
1	いちご	
2	もも類	
3	なし	
4	干柿類	
5	ぶどう	
6	すもも	
III	主要野菜の品目別販売経過	30
1	にら	
2	しゅんぎく	
3	だいこん	
4	ブロッコリー	
5	みず菜	
6	あさつき	
	参考資料1 福島県青果物北海道荷受機関連絡協議会（福北会）会員名簿	44
	参考資料2 福島県青果物北海道荷受機関連絡協議会（福北会）理事一覧表	45

# I 平成21年福島県産青果物の販売実績等について

## 1 平成21年産青果物取扱実績等について

### (1) 取扱実績

福島県青果物北海道荷受機関連絡協議会（以下「福北会」という。）会員12市場における平成21年（平成21年1月～平成21年12月）の福島県産青果物の取扱実績は、数量で7,557ト（前年比99.8%）、平均単価で430円（同99.8%）、金額で3,246百万円（同99.5%）となった。

本年は果実部門ではほぼ前年並であったが、野菜部門では単価安であり、金額は前年を下回った。青果物全体で見ると、数量、単価、金額とも前年をわずかに下回っているものの、ほぼ前年並と言える。

平年比（平成18年から20年までの3年間の平均値との比較。以下、同じ。）で見ると、数量は104.1%と上回っているものの、平均単価は91.7%と下回っており、金額は95.7%となっている。

### ① 果実

多くの品目において取扱数量が増加したものの、最主力品目であるもも類のほか、いちご、かきの出荷が減ったため、数量は前年をわずかに下回る5,261ト（前年比99.4%）となった。平均単価は出荷が減った品目を中心に前年を上回ったため、前年比102.4%となった。金額も単価に支えられて2,482百万円（同101.8%）と前年をわずかに上回った。

平年比で見ると、数量は107.7%、平均単価は90.9%、金額は98.4%であった。

#### ア いちご

数量は590ト（前年比85.5%）と前年よりも減少した。単価は前年比101.0%となったが、金額は559百万円（同86.3%）と前年を下回った。

#### イ さくらんぼ

数量は24ト（前年比126.3%）と前年よりも増加した。単価は前年比96.3%となったが、金額は48百万円（同121.7%）と前年を上回った。

## ウ もも類

本県産果実の最主力である「もも類」の取扱数量は2,703トンであり、豊作により出荷量が多かった前年と比較すると89.8%であるが、平年を少し上回る取扱量となっている。

単価もほぼ平年並であり、数量増に伴い安値であった前年と比べると108.7%と上回っている。

金額は1,081百万円（前年比97.7%）となり、前年を下回る結果となったが、平年を少し上回る実績となっている。

## エ りんご

数量が297トン（前年比183.3%）と前年より大きく増加した。単価は前年比89.9%となったが、金額は45百万円（同164.8%）となり、前年を大きく上回る結果となった。

## オ なし

天候が概ね良好で豊作傾向であったことから、同様に豊作であった前年をさらに上回る920トン（前年比110.2%）の取扱数量となった。単価は前年比99.5%となったが、金額は189百万円（同109.8%）と前年を上回った。

## カ かき

数量は82トン（前年比90.1%）と前年より減少した。単価は前年比102.9%となったが、金額は26百万円（同92.9%）と前年を下回った。

## キ 干柿類

本年は原料柿が少なかったものの、乾燥が進まず数量が少なかった前年と比べると117.1%となる192トンの取扱量であった。単価も前年比108.0%と上回ったため、金額は256百万円（前年比126.5%）となり前年を大きく上回った。

## ク ぶどう

数量は280トン（前年比136.6%）と前年より増加した。単価は前年比94.6%となったが、金額は202百万円（同129.3%）と前年を上回った。

## ケ すもも

数量は132トン（前年比124.5%）と前年より増加した。単価も前年比107.5%となったため、金額は64百万円（同133.7%）と前年を上回った。

## ② 野菜

取扱数量は前年より微増となる2,296トン（前年比100.9%）となり、ここ数年の減少傾向に歯止めをかけた。

しかし、平均単価及び金額は減少傾向をさらに継続させた。

平均単価は前年比92%であり、金額は764百万円（前年比92.7%）となった。

平年比は、数量が96.8%、平均単価が90.7%、金額が87.8%となっている。

### ア にら

本県産野菜の最主力品目とも言える「にら」は、数量が486トン（前年比93.3%）と前年より減少した。単価も前年比93.1%と前年を下回ったため、金額は261百万円（同86.8%）と前年を下回った。

本年も前年に引き続き、数量、単価、金額とも平年を下回った。

### イ しゅんぎく

数量で242トン（前年比86.4%）と前年より減少した。単価は前年比99.6%で前年並であったが、金額は131百万円（同86.2%）と前年を下回った。

しゅんぎくについても、前年に引き続き本年も数量、単価、金額とも平年を下回っている。

### ウ きゅうり

数量は131トン（前年比92.9%）と前年より減少した。単価も前年比95.3%となったため、金額は32百万円（同88.3%）と前年を下回った。

数量、金額については大きく減少した前年をさらに下回っており、平年比では約70%の実績となっている。

### エ トマト

数量は8トン（前年比200%）と前年より増加した。単価は前年比84.1%となったが、金額は3百万円（同168.5%）と前年を上回った。平成20年より他市場からの転送品が大きく減ったため、数量及び金額は平年を大きく下回っている。

### オ ほうれんそう

数量は5トン（前年比23.8%）と前年より大きく減少した。単価は前年比121.1%となったが、金額は2百万円（同28.8%）と前年を大きく下回った。

#### カ だいこん

数量で727トン（前年比95.4%）と前年より減少した。単価も前年比76.5%となったため、金額は45百万円（前年比72.2%）と前年を大きく下回った。

#### キ ブロッコリー

数量で320トン（前年比156.9%）と前年より増加した。単価は前年比88.3%となったが、金額は106百万円（前年比138.4%）と前年を上回った。

#### ク ねぎ

数量で87トン（前年比228.9%）と前年より大きく増加した。単価も前年比107.2%となったため、金額は23百万円（前年比245.2%）と前年を大きく上回った。

#### ケ みず菜

数量で50トン（前年比113.6%）と前年より増加した。単価も前年比102.8%となったため、金額は28百万円（前年比116.7%）と前年を上回った。

#### コ あさつき

数量で24トン（前年比85.7%）と前年より大きく減少した。単価も前年比90.6%となったため、金額は16百万円（同77.6%）と前年を大きく下回った。

## (2) 市場占有率（シェア）

福北会会員12市場における平成21年産青果物の総取扱量は624,947ト、福島県産青果物の取扱数量は7,557トであった。

そのため、市場占有率（以下「シェア」という。）は、前年と同水準の1.2%であった。

### ① 果実

市場総取扱数量は前年並であったが、本県産の取扱数量も前年比で99.4%とほぼ前年並であった。シェアも前年並の3.2%であった。

なお、本県の主要出荷品目9品目のうち、6品目が前年よりもシェアを伸ばしている。そのため、主要9品目の合計のシェアについて、本年は10.3%（前年9.2%）となっており、前年を1.1ポイント上回った。

主な品目のシェアの動向は、以下のとおり。

○ もも類	65.1%	（前年比	△1.7ポイント）
○ 干柿類	44.5%	（	〃 +3.4ポイント）
○ なし	16.0%	（	〃 +0.8ポイント）
○ すもも	13.1%	（	〃 +2.7ポイント）
○ いちご	10.1%	（	〃 △1.2ポイント）

### ② 野菜

市場総取扱数量は前年比100.8%であった。本県産の取扱数量は前年比で100.9%であったが、市場総取扱数量の規模から見ると極めて少ない数量であることから、シェアは前年と変わらず0.5%であった。

本県のシェア上位3品目である、にら、しゅんぎく及びあさつきについては前年よりも数量を減らしており、それに伴いシェアも減らしている。

一方、ブロッコリーについては近年数量を伸ばしており、それに伴いシェアも伸びてきている。本年については前年を1.6ポイント上回った。

主な品目のシェアの動向は、以下のとおり。

○ あさつき	44.4%	（前年比	△0.8ポイント）
○ しゅんぎく	36.9%	（	〃 △1.3ポイント）
○ にら	16.5%	（	〃 △0.8ポイント）
○ ブロッコリー	4.1%	（	〃 +1.6ポイント）

# 北海道市場における平成21年産青果物取扱実績

【単位 数量:トン キロ単価:円 金額:千円 前年比:%】

項目 品目	市場総取扱実績			左のうち福島県分				平成20年実績(福島県分)				福島県分前年比			平年比		
	数量	キロ単価	金額	数量	シェア	キロ単価	金額	数量	シェア	キロ単価	金額	数量	キロ単価	金額	数量	キロ単価	金額
いちご	5,817	1,048	6,094,888	590	10.1	948	559,068	690	11.3	939	647,929	85.5	101.0	86.3	81.2	96.6	78.4
さくらんぼ	784	1,161	909,855	24	3.1	1,992	47,819	19	2.6	2,068	39,295	126.3	96.3	121.7	109.1	96.7	104.7
もも・ネクタリン	4,149	411	1,703,843	2,703	65.1	400	1,081,043	3,009	66.8	368	1,106,460	89.8	108.7	97.7	103.4	99.5	103.5
りんご	15,238	280	4,263,347	297	1.9	151	44,891	162	0.8	168	27,242	183.3	89.9	164.8	184.6	73.4	135.7
なし	5,760	218	1,254,719	920	16.0	205	188,939	835	15.2	206	172,001	110.2	99.5	109.8	131.4	79.0	105.9
かき	11,615	214	2,487,334	82	0.7	319	26,198	91	0.7	310	28,196	90.1	102.9	92.9	104.9	98.9	104.3
干柿類	431	1,325	570,877	192	44.5	1,331	255,642	164	41.1	1,232	202,009	117.1	108.0	126.5	100.0	115.4	116.4
ぶどう	5,974	438	2,616,843	280	4.7	723	202,361	205	4.0	764	156,559	136.6	94.6	129.3	129.8	92.9	120.6
すもも	1,005	446	448,003	132	13.1	488	64,402	106	10.4	454	48,164	124.5	107.5	133.7	122.2	102.6	125.0
その他果実	114,749	208	23,890,396	41	0.0	286	11,722	12	0.0	820	9,844	341.7	34.9	119.1	59.1	39.8	27.2
<b>果実計</b>	<b>165,521</b>	<b>267</b>	<b>44,240,105</b>	<b>5,261</b>	<b>3.2</b>	<b>472</b>	<b>2,482,085</b>	<b>5,293</b>	<b>3.2</b>	<b>461</b>	<b>2,437,699</b>	<b>99.4</b>	<b>102.4</b>	<b>101.8</b>	<b>107.7</b>	<b>90.9</b>	<b>98.4</b>
にら	2,946	401	1,180,972	486	16.5	537	260,962	521	17.3	577	300,816	93.3	93.1	86.8	86.9	93.8	81.5
しゅんぎく	655	497	325,817	242	36.9	542	131,162	280	38.2	544	152,246	86.4	99.6	86.2	82.4	96.6	79.7
きゅうり	18,933	240	4,535,962	131	0.7	245	32,069	141	0.7	257	36,306	92.9	95.3	88.3	68.5	99.8	68.9
トマト	19,665	320	6,299,280	8	0.0	397	3,178	4	0.0	472	1,886	200.0	84.1	168.5	27.7	105.6	32.5
ほうれんそう	7,098	452	3,210,617	5	0.1	454	2,271	21	0.3	375	7,876	23.8	121.1	28.8	35.5	121.1	40.3
だいこん	44,618	72	3,212,499	727	1.6	62	44,780	762	1.6	81	62,027	95.4	76.5	72.2	105.4	87.3	91.4
ブロッコリー	7,814	282	2,205,062	320	4.1	332	106,227	204	2.5	376	76,743	156.9	88.3	138.4	180.8	91.3	164.5
ねぎ	16,289	281	4,576,247	87	0.5	269	23,371	38	0.2	251	9,533	228.9	107.2	245.2	135.3	100.9	134.0
みず菜	2,069	361	747,533	50	2.4	552	27,575	44	2.1	537	23,631	113.6	102.8	116.7	94.5	113.7	109.2
あさつき	54	731	39,451	24	44.4	684	16,421	28	45.2	755	21,151	85.7	90.6	77.6	75.3	93.8	72.4
その他野菜	339,285	150	50,961,429	218	0.1	533	116,274	233	0.1	568	132,228	93.6	93.8	87.9	80.5	100.2	80.5
<b>野菜計</b>	<b>459,426</b>	<b>168</b>	<b>77,294,869</b>	<b>2,296</b>	<b>0.5</b>	<b>333</b>	<b>764,290</b>	<b>2,276</b>	<b>0.5</b>	<b>362</b>	<b>824,443</b>	<b>100.9</b>	<b>92.0</b>	<b>92.7</b>	<b>96.8</b>	<b>90.7</b>	<b>87.8</b>
<b>合計</b>	<b>624,947</b>	<b>194</b>	<b>121,534,974</b>	<b>7,557</b>	<b>1.2</b>	<b>430</b>	<b>3,246,375</b>	<b>7,569</b>	<b>1.2</b>	<b>431</b>	<b>3,262,142</b>	<b>99.8</b>	<b>99.8</b>	<b>99.5</b>	<b>104.1</b>	<b>91.7</b>	<b>95.7</b>

(注) 平年比: 過去3年間(平成18~20年)の平均値との比較。  
(注) 端数処理により、各品目の数量の総和と小計・合計が合わない場合がある。

### (3) 品目別取扱額構成

福北会会員12市場における平成21年福島県産青果物の取扱額は3,246百万円であり、そのうち果実が76.5%、野菜が23.5%を占める。

#### ① 果実

県産果実の取扱額は2,482百万円で、その内上位3品目で76.4%を占めている。また、主要9品目となると取扱額の99.5%を占めている。

主な品目の取扱額構成比は、以下のとおり。

・もも類	43.6%	(前年比	△1.8ポイント)	
・いちご	22.5%	(	〃	△4.1ポイント)
・干柿類	10.3%	(	〃	+2.0ポイント)
・なし	7.6%	(	〃	+0.5ポイント)
・ぶどう	8.2%	(	〃	+1.8ポイント)

#### ② 野菜

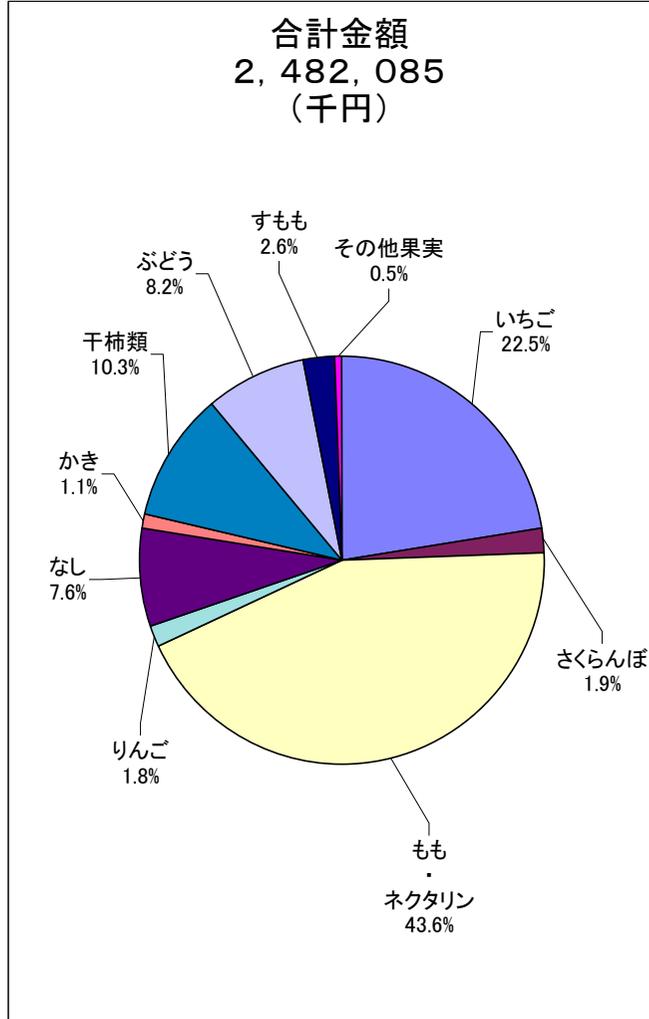
県産野菜の取扱額は764百万円で、その内上位3品目で65.2%を占めている。また、主要10品目となると取扱額の84.8%を占めている。

主な品目の取扱額構成比は、以下のとおり。

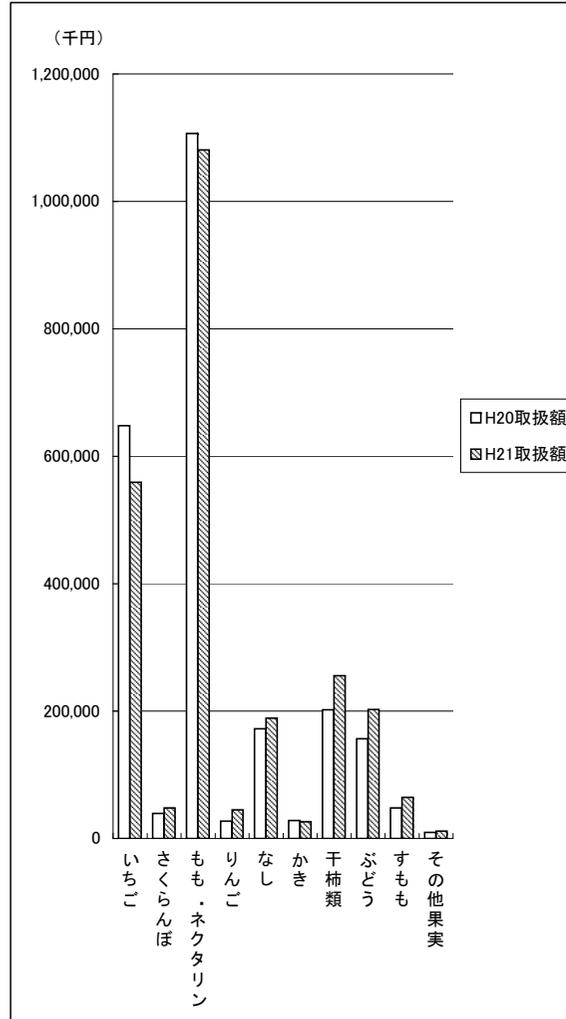
・にら	34.1%	(前年比	△2.4ポイント)	
・しゅんぎく	17.2%	(	〃	△1.3ポイント)
・ブロッコリー	13.9%	(	〃	+4.6ポイント)
・だいこん	5.9%	(	〃	△1.6ポイント)

# 平成21年 福島県産果実

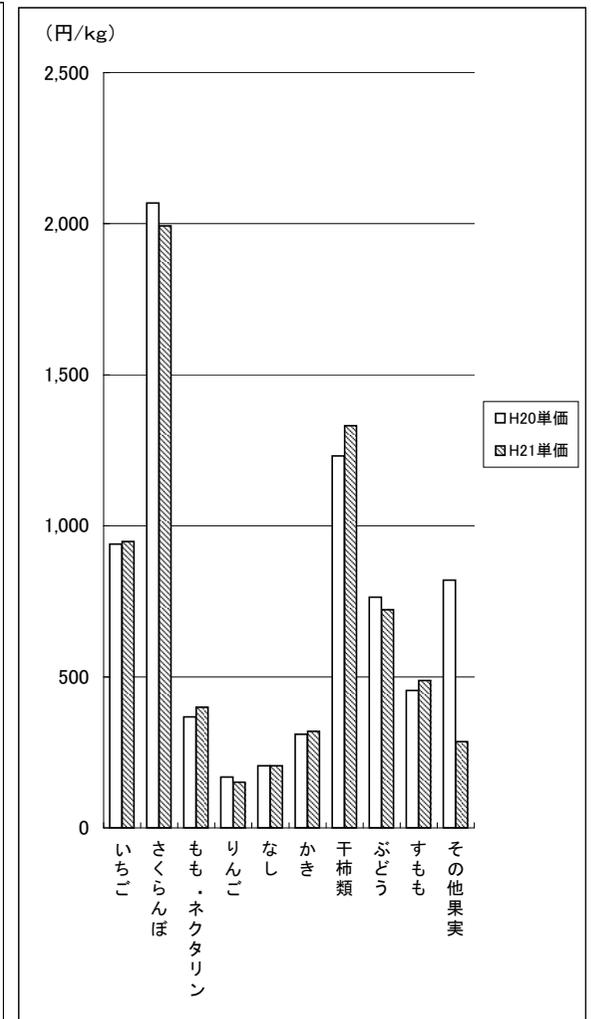
(1) 品目別取扱額構成



(2) 品目別取扱額



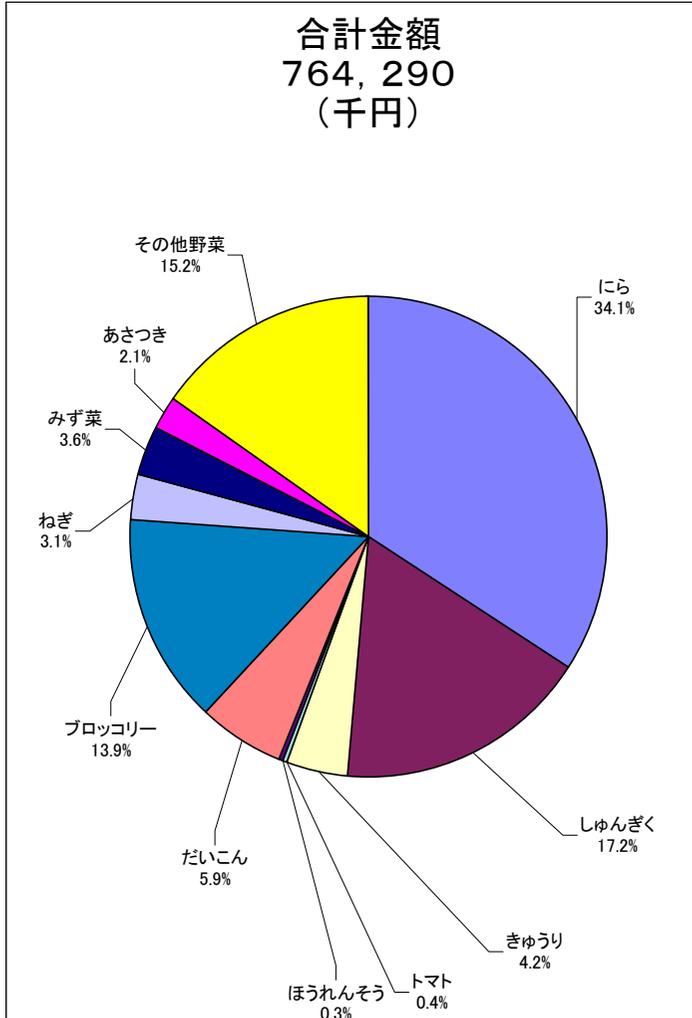
(3) 品目別単価



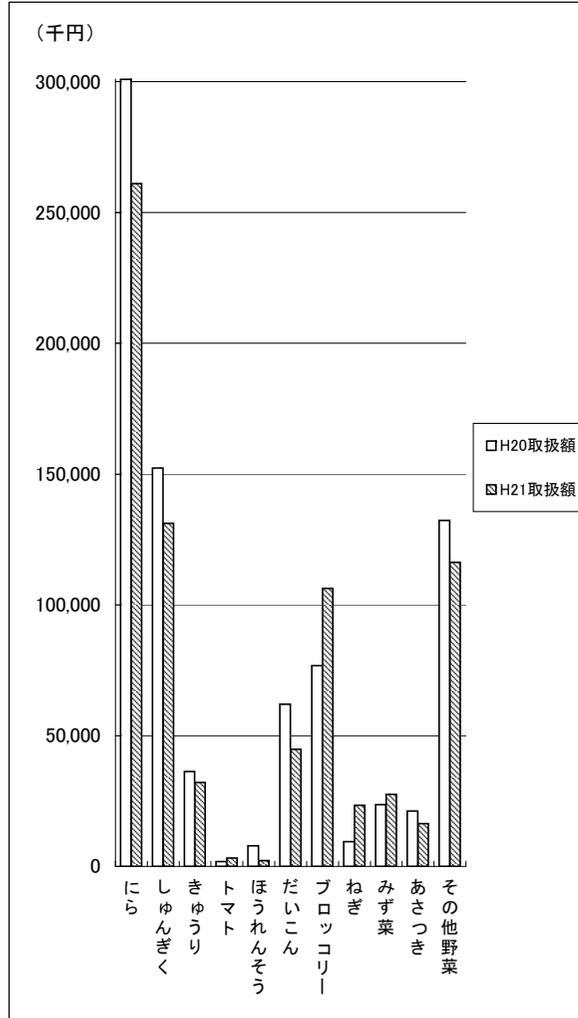
(すべて年集計)

# 平成21年 福島県産野菜

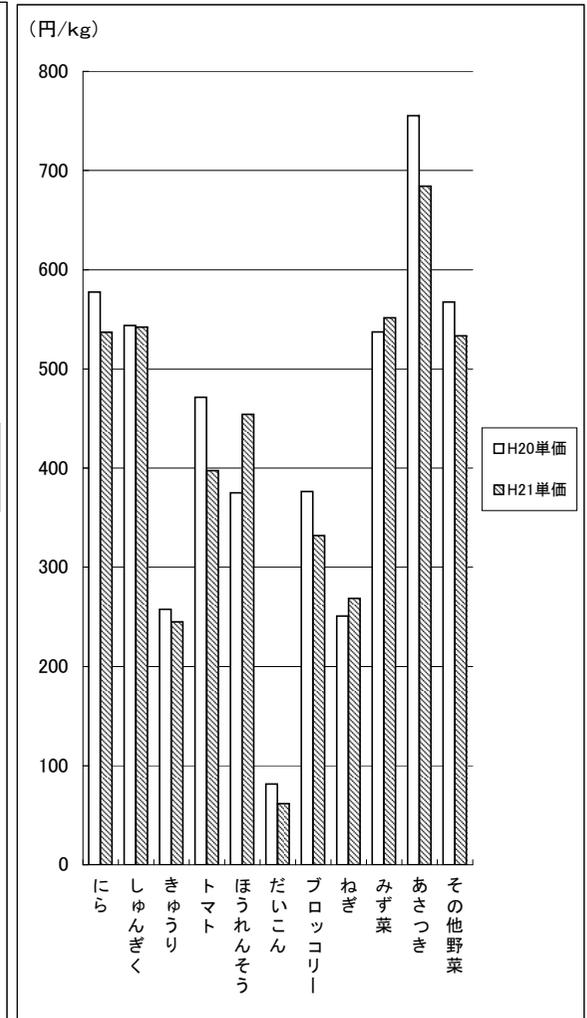
(1) 品目別取扱額構成



(2) 品目別取扱額



(3) 品目別単価



(すべて年集計)

## 2 平成22年産入荷期待量調べについて

福島県産青果物に対する福北会会員12市場の平成22年産入荷期待量は8,036.4トシである。平成21年の取扱実績と比較すると106.3%となり、実績よりも若干多い入荷量が期待されている。

### (1) 果実

入荷期待量は5,588.5トシ(21年実績比106.2%、21年期待量比103.2%)となっている。

中でも「さくらんぼ」については、実績の3倍以上の入荷量が期待されているうえ、前年の調べと比較しても期待量が134%増加しており、近年期待が高まっている品目であるといえる。

主な品目の22年産入荷期待量は、以下のとおり。

				21年実績比	21年期待量比
○も	も	類	2,803.5トン	( 103.7 %、	111.9 %)
○い	ち	ご	906.5トン	( 153.6 %、	104.5 %)
○な		し	692.0トン	( 75.2 %、	95.4 %)
○す	も	も	223.0トン	( 168.9 %、	102.5 %)
○さ	く	らんぼ	74.0トン	( 308.3 %、	134.1 %)

### (2) 野菜

入荷期待量は2,447.9トシ(21年実績比106.6%、21年期待量比92.6%)となっている。

多くの品目において実績以上の入荷が期待されているが、その中でもほうれん草が群を抜いて期待されている。理由は、平成21年実績における同品目の取扱数量が減少しており、特に本県産の減少が大きかったことから回復を期待していることによる。

主な品目の22年産入荷期待量は、以下のとおり。

				21年実績比	21年期待量比
○に		ら	586.5トン	( 120.7 %、	94.4 %)
○だ	い	こん	940.0トン	( 129.3 %、	101.1 %)
○し	ゅん	ぎく	289.0トン	( 119.4 %、	90.1 %)
○ほ	うれん	そう	58.2トン	( 1,164.0 %、	71.4 %)

## 北海道市場における平成22年福島県産青果物入荷期待量調べ

項目 品目	入荷期待		左 の 月 別 内 訳													前年実績 数量(トン)
	数量(トン)	前年実績比 (%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	通年	
いちご	906.5	153.6	90.0	113.0	148.0	248.0	224.5	50.0						33.0		590
さくらんぼ	74.0	308.3					24.0	50.0								24
もも・ネクタリン	2,803.5	103.7							683.0	1,715.0	405.5					2,703
りんご	213.5	71.9							11.0	42.0	20.0	50.0	80.5	10.0		297
なし	692.0	75.2	0.8	1.5	1.0	0.7				89.0	338.0	169.0	91.0	1.0		920
かき	97.0	118.3	1.0									7.0	75.0	14.0		82
干柿類	203.5	106.0	64.0	37.5	7.0								2.0	93.0		192
ぶどう	361.5	129.1	2.0						5.0	52.5	94.0	99.0	61.0	48.0		280
すもも	223.0	168.9							14.0	132.0	77.0					132
その他果実	14.0	34.1											5.0	9.0		41
<b>果実計</b>	<b>5,588.5</b>	<b>106.2</b>	<b>157.8</b>	<b>152.0</b>	<b>156.0</b>	<b>248.7</b>	<b>248.5</b>	<b>114.0</b>	<b>831.0</b>	<b>1,975.5</b>	<b>857.5</b>	<b>325.0</b>	<b>314.5</b>	<b>208.0</b>		<b>5,261</b>
にら	586.5	120.7	116.5	97.5	62.5	5.0					5.0	66.5	106.5	127.0		486
しゅんぎく	289.0	119.4	57.5	54.5	51.0	20.5							37.0	68.5		242
きゅうり	79.5	60.7			10.0	11.0	15.0	7.0	7.5			6.5	22.5			131
トマト	6.0	75.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.0	0.5				1.5	1.0		8
ほうれんそう	58.2	1,164.0	22.2	22.0	10.0								2.0	2.0		5
だいこん	940.0	129.3										10.0	360.0	570.0		727
ブロッコリー	320.0	100.0	64.0	14.0	2.0		15.0	15.0					85.0	125.0		320
ねぎ	72.5	83.3	22.0	14.5	2.5	0.5							8.0	25.0		87
みず菜	44.5	89.0	11.8	11.7	8.5	3.5							0.5	8.5		50
あさつき	36.5	152.1	10.0	12.0	8.0	3.0							1.0	2.5		24
その他野菜	15.2	7.0		1.5	4.2	6.0	2.0	1.0						0.5		218
<b>野菜計</b>	<b>2,447.9</b>	<b>106.6</b>	<b>304.5</b>	<b>228.2</b>	<b>159.2</b>	<b>50.0</b>	<b>32.0</b>	<b>24.0</b>	<b>8.0</b>		<b>5.0</b>	<b>83.0</b>	<b>624.0</b>	<b>930.0</b>		<b>2,296</b>
<b>合計</b>	<b>8,036.4</b>	<b>106.3</b>	<b>462.3</b>	<b>380.2</b>	<b>315.2</b>	<b>298.7</b>	<b>280.5</b>	<b>138.0</b>	<b>839.0</b>	<b>1,975.5</b>	<b>862.5</b>	<b>408.0</b>	<b>938.5</b>	<b>1,138.0</b>		<b>7,557</b>

### 3 福島県産青果物の過去10年間の取扱実績について

過去10年間の福島県産青果物取扱実績における平成21年の順位を見ると、取扱数量は6位、取扱金額は8位となっている。

#### (1) 果実

過去10年間の取扱実績における平成21年の順位を見てみると、取扱数量は4位、取扱金額も4位となっている。

取扱数量は、前年を大きく上回った年の後に減少が数年続くというサイクルを繰り返しており、直近では平成20年に前年を大きく上回っている。

単価は年ごとに大きく乱高下しており、最大値（平成19年）と最小値（平成13年）の差が133円となっている。

取扱金額も単価同様乱高下があるが、近年の傾向としては、平成15年を底に回復が見られる。

取扱数量及び単価は、最主力品目である「もも」によって左右される傾向にある。

#### (2) 野菜

過去10年間の取扱実績における平成21年の順位を見てみると、取扱数量は9位、取扱金額は最下位となっている。

取扱数量は減少傾向である。

単価は近年緩やかに減少していた中、平成21年は大きな下げ幅を見せた。

取扱数量と単価が減少傾向であるため、それらを積算した取扱金額は減少が顕著である。過去10年間では平成12年が最大値、平成21年が最小値であり、平成21年の金額は平成12年の金額の64.8%となっている。

野菜部門の取扱数量が減少傾向の中、「ブロッコリー」はほぼ順調に出荷を増加させており、平成21年の取扱数量は平成12年の1,684%にあたる。

## 福島県産青果物の過去の10年間の取扱実績

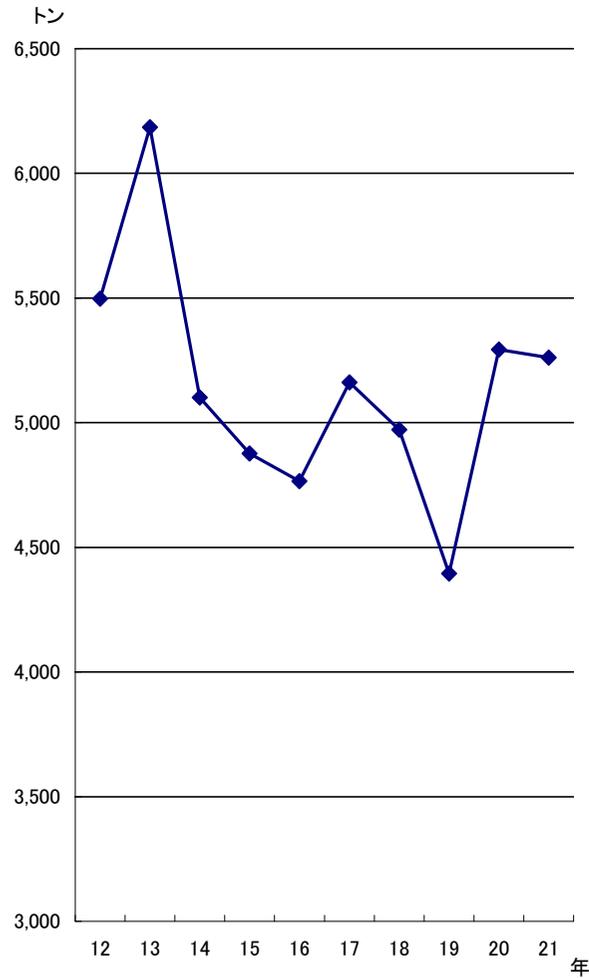
年次	果 実			野 菜			合 計			前 年 比 ( % )			シ ョ ア ( % )	
	数量(t)	単価(円/Kg)	金額(千円)	数量(t)	単価(円/Kg)	金額(千円)	数量(t)	単価(円/Kg)	金額(千円)	数 量	単 価	金 額	数 量	金 額
12	5,497	481	2,645,117	3,086	383	1,180,230	8,583	446	3,825,347	99.8	93.3	93.1	1.2	2.8
13	6,185	428	2,645,555	2,783	359	997,927	8,968	406	3,643,482	104.5	91.2	95.2	1.5	3.0
14	5,101	471	2,401,340	2,792	385	1,074,133	7,893	440	3,475,473	88.0	108.4	95.4	1.2	2.7
15	4,876	430	2,098,844	2,603	366	952,065	7,479	408	3,050,909	94.8	92.6	87.8	1.1	2.4
16	4,765	515	2,453,076	2,798	393	1,100,575	7,563	470	3,553,651	101.1	115.2	116.5	1.2	2.7
17	5,162	432	2,232,407	2,298	386	885,976	7,460	418	3,118,383	98.6	89.0	87.8	1.2	2.5
18	4,972	535	2,660,373	2,441	376	917,605	7,413	483	3,577,978	99.4	115.5	114.7	1.2	2.9
19	4,395	561	2,466,359	2,396	362	868,644	6,791	491	3,335,003	91.6	101.7	93.2	1.1	2.7
20	5,293	461	2,437,699	2,276	362	824,443	7,569	431	3,262,142	111.5	87.8	97.8	1.2	2.7
21	5,261	472	2,482,085	2,296	333	764,290	7,557	430	3,246,375	99.8	99.8	99.5	1.2	2.7

## 福島県産青果物の過去10年間品目別取扱（果実）

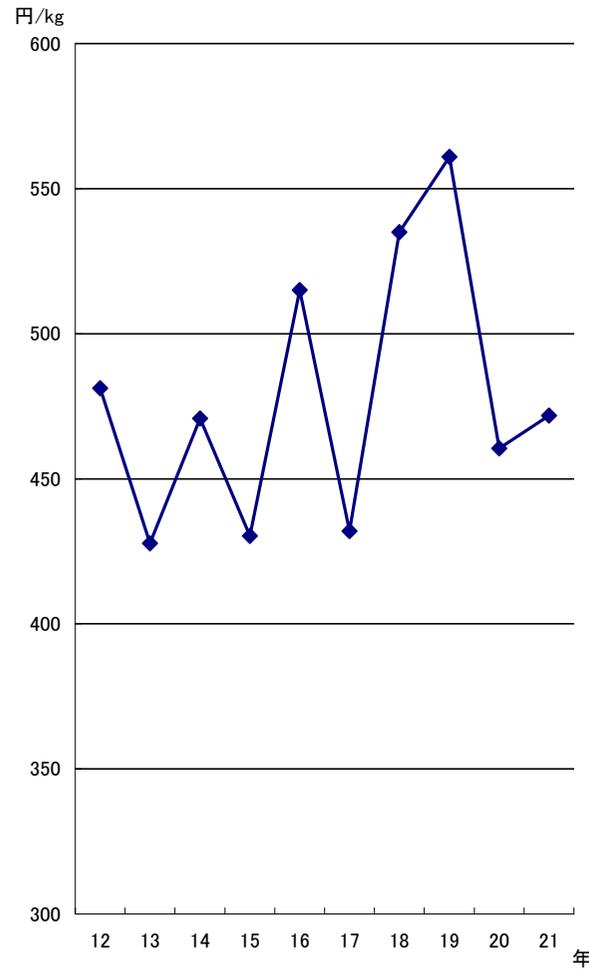
		いちご	さくらんぼ	桃 ・ ネクタリン	りんご	なし	かき	干柿類	ぶどう	すもも	その他	合計
数 量 (t)	12	686	17	2,865	230	1,025	137	156	134	215	34	5,497
	13	642	25	3,343	333	1,063	138	167	151	261	62	6,185
	14	594	29	2,750	177	837	82	175	194	223	39	5,101
	15	635	23	2,326	241	1,034	80	139	200	185	15	4,876
	16	684	21	2,312	199	864	80	166	190	222	28	4,765
	17	597	38	2,882	194	787	89	140	226	187	23	5,162
	18	776	22	2,679	149	690	77	225	217	116	22	4,972
	19	714	25	2,154	172	577	67	187	225	103	173	4,395
	20	690	19	3,009	162	835	91	164	205	106	12	5,293
	21	590	24	2,703	297	920	82	192	280	132	41	5,261
単 価 (円/Kg)	12	1,082	2,011	398	196	239	352	1,213	817	383	314	481
	13	961	1,945	367	197	215	337	1,104	797	326	359	428
	14	957	1,645	391	195	232	379	1,152	769	341	587	471
	15	987	1,971	313	194	214	383	1,263	716	410	264	430
	16	1,007	1,883	414	221	250	389	1,359	858	353	310	515
	17	1,030	1,914	312	197	202	295	1,370	663	392	407	432
	18	963	1,977	424	234	283	328	1,057	783	479	718	535
	19	1,041	2,167	414	216	291	331	1,172	786	493	601	561
	20	939	2,036	368	168	206	311	1,230	765	454	834	461
	21	948	1,992	400	151	205	319	1,331	723	488	286	472
金 額 (千円)	12	742,070	33,584	1,139,599	44,964	245,317	47,985	189,030	109,606	82,443	10,519	2,645,117
	13	617,076	49,019	1,227,195	65,400	228,554	46,549	183,954	120,591	84,839	22,378	2,645,555
	14	568,602	47,696	1,075,513	34,616	194,094	31,149	201,642	149,109	76,188	22,731	2,401,340
	15	627,009	45,322	729,059	46,801	221,549	30,651	175,511	143,123	75,864	3,955	2,098,844
	16	688,890	39,534	957,915	43,883	216,109	31,116	225,513	163,008	78,438	8,670	2,453,076
	17	614,294	71,954	898,117	38,204	159,140	26,137	192,231	149,738	73,392	9,200	2,232,407
	18	747,006	43,568	1,135,488	34,830	195,471	25,118	238,113	169,831	55,468	15,480	2,660,373
	19	743,337	54,116	891,371	37,162	167,631	22,048	218,965	177,016	50,925	103,788	2,466,359
	20	647,929	39,295	1,106,460	27,242	172,001	28,196	202,009	156,559	48,164	9,844	2,437,699
	21	559,068	47,819	1,081,043	44,891	188,939	26,198	255,642	202,361	64,402	11,722	2,482,085

# 福島産果実の過去10年間における推移

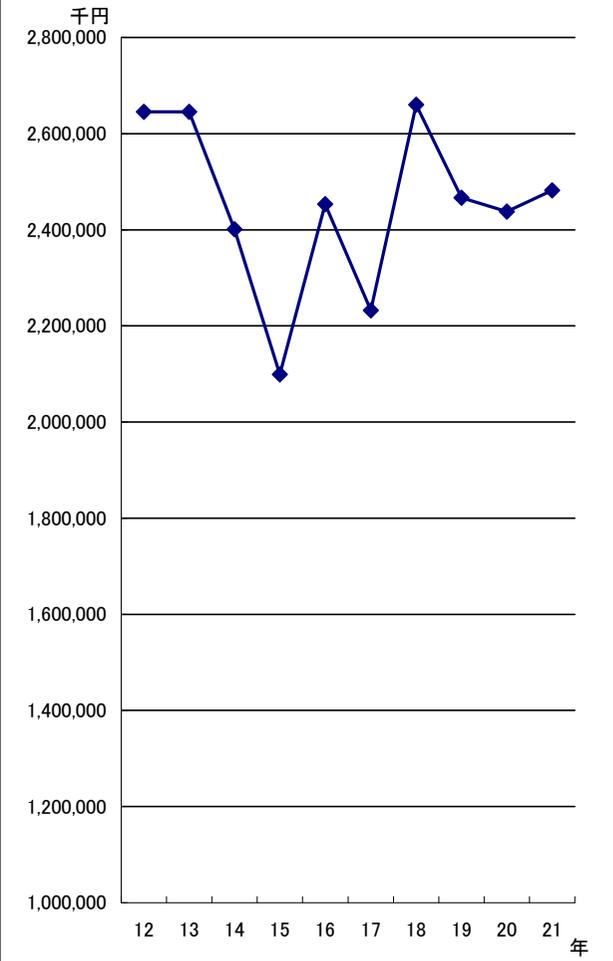
## 取扱数量



## 単価



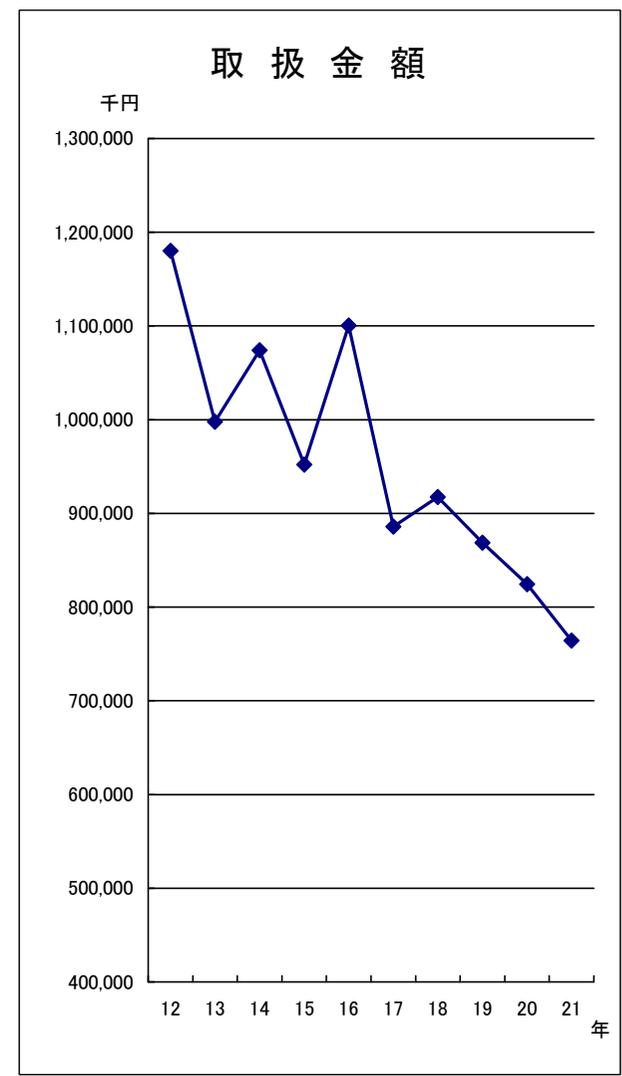
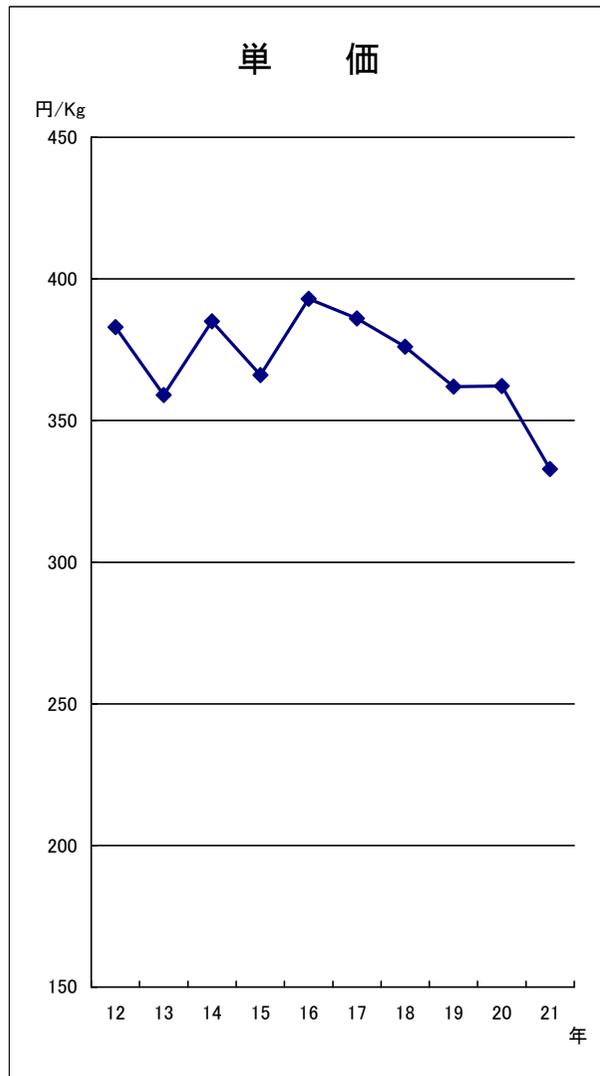
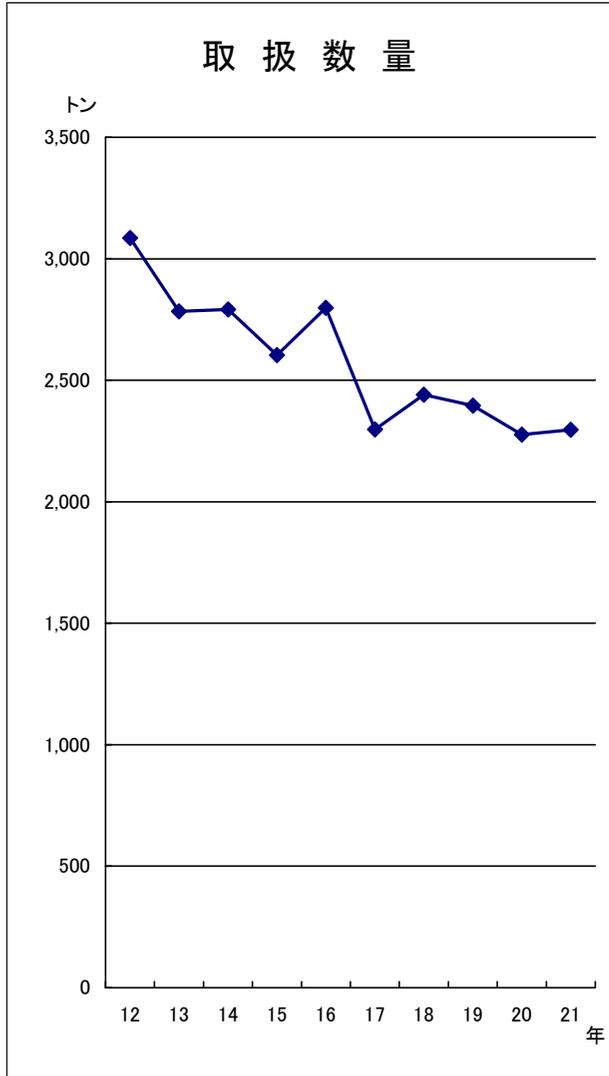
## 取扱金額



# 福島県産青果物の過去10年間品目別取扱（野菜）

		にら	春菊	きゅうり	トマト	法連草	大根	ブロッコリー	ねぎ	みず菜	あさつき	その他	合計
数量 (t)	12	996	510	83	58	54	593	19	142		63	567	3,086
	13	775	392	78	44	41	675	25	127		46	581	2,783
	14	872	359	130	51	27	535	55	149		41	573	2,792
	15	665	348	96	33	11	691	154	57		40	508	2,603
	16	704	329	136	36	2	759	125	67		41	601	2,798
	17	565	301	184	32	6	606	78	76		30	421	2,298
	18	615	286	225	30	2	666	163	86	58	31	281	2,441
	19	541	317	208	48	20	640	164	69	55	35	299	2,396
	20	521	280	141	4	21	762	204	38	44	28	233	2,276
	21	486	242	131	8	5	727	320	87	50	24	218	2,296
単価 (円/kg)	12	515	413	295	321	406	90	200	189		554	482	383
	13	530	480	248	429	338	63	244	228		634	416	359
	14	478	487	284	419	326	118	306	233		579	486	385
	15	521	551	204	350	381	60	222	300		742	507	366
	16	577	556	280	352	449	83	348	269		766	507	393
	17	587	584	206	338	517	60	415	262		830	509	386
	18	595	617	220	294	332	58	322	294	453	789	523	376
	19	544	522	259	387	412	72	393	257	470	639	506	362
	20	577	545	257	448	380	81	376	248	532	761	568	362
	21	537	542	245	397	454	62	332	269	552	684	533	333
金額 (千円)	12	513,191	210,796	24,514	18,700	21,947	53,244	3,825	26,746		34,989	272,278	1,180,230
	13	410,645	188,126	19,300	18,715	13,841	42,407	6,176	28,937		29,403	240,377	997,927
	14	416,918	174,818	36,957	21,223	8,924	63,137	16,791	34,545		23,929	276,891	1,074,133
	15	346,229	191,725	19,617	11,535	4,195	41,736	34,148	17,110		29,695	256,075	952,065
	16	406,384	182,968	38,112	12,682	897	62,881	43,486	18,038		31,409	303,718	1,100,575
	17	331,859	175,787	37,853	10,638	2,895	36,139	32,145	19,886		25,059	213,715	885,976
	18	366,276	176,270	49,293	8,856	788	38,521	52,326	25,107	26,113	24,322	149,733	917,605
	19	294,074	165,210	53,951	18,575	8,249	46,386	64,627	17,688	26,014	22,600	151,269	868,644
	20	300,816	152,246	36,306	1,886	7,876	62,027	76,743	9,533	23,631	21,151	132,228	824,443
	21	260,962	131,162	32,069	3,178	2,271	44,780	106,227	23,371	27,575	16,421	116,274	764,290

# 福島産野菜の過去10年間における推移



## Ⅱ 主要果実の品目別販売経過



※主な販売期間

平成20年12月～平成21年5月

### 1 販売経過

- 「とちおとめ」が主体。
- 安定して入荷はあったが、入荷量が少なかった。  
特にクリスマスの時期やひなまつりの時期などの需要期の入荷が少なかった。
- 4～5月の温暖期に、過熟によるクレームが多発した。
- トレーパックでの入荷が中心であったが、コンテナによる入荷が例年よりも多かった。

### 2 競合産地の動向

- 道外は、宮城（「とちおとめ」、「もういっこ」）・福岡（「あまおう」）・佐賀（「さがほのか」）などの入荷がある。
- 宮城産の取扱いが引き続き増加しており、札幌市場ではシェアが前年より2.3ポイント増加した。（H20年57.0%）
- 福岡産が高単価であるが、前年と比較しても伸びを見せている。

### 3 消費の動向

- 大玉で食味の良い品種が人気である。
- スーパーの特売商材になりやすく、販売価格がスーパーが設定する売価に左右されることが多いため、産地が希望する販売価格にならないことが多い。
- 販売が好調な時に販売数量を伸ばさないと荷動きが止まってしまう傾向。
- 一部の量販店は品質に敏感であり、わずかな品質の問題でも多量の返品を行う。

### 4 課題と要望等

- 出荷量の増加及び安定出荷。
- 的確かつ早めの産地情報の提供。
- 特に高温期における品質管理の徹底。

### 5 販売に係る提案

- ポスターやリーフレットによる消費宣伝。
- 試食販売の実施。
- オリジナル品種の開発。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：いちご】

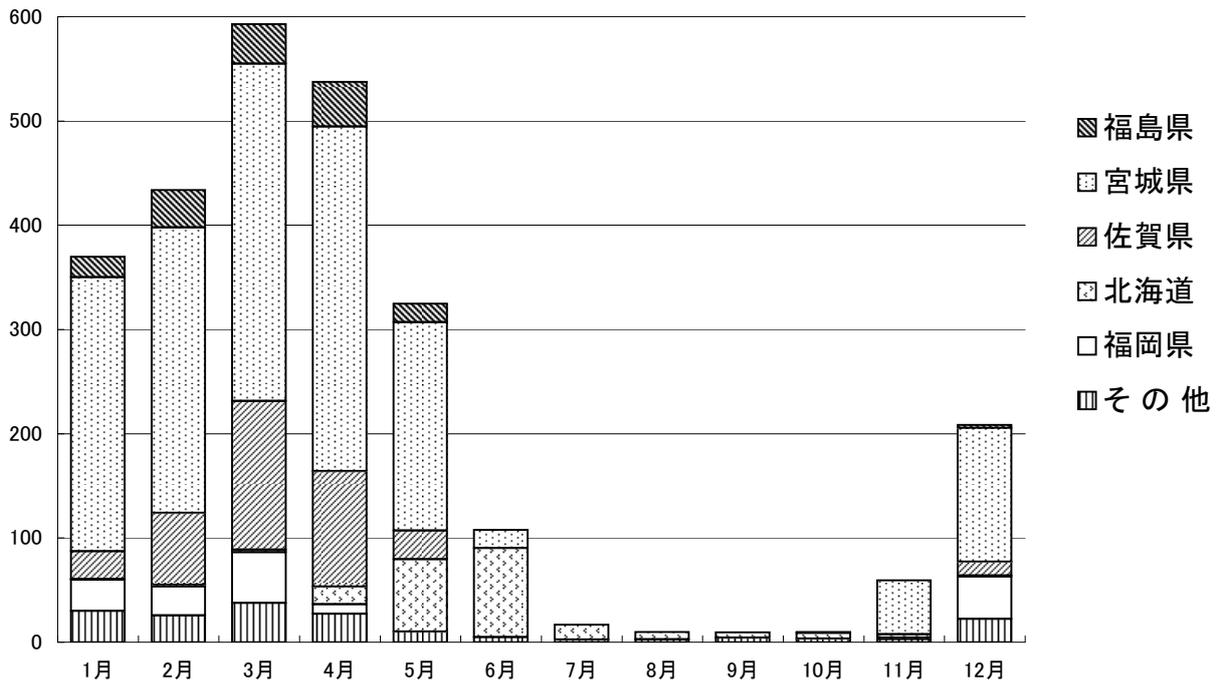
(単位:数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	369,782	433,828	592,832	537,585	324,689	107,756
	単価	1,084	1,043	1,007	822	902	1,003
	前年比	129.5	99.5	91.7	96.9	85.1	87.3
福島県	数量	19,501	35,946	37,825	43,008	17,766	0
	単価	1,057	1,013	991	824	871	
	シェア	5.3	8.3	6.4	8.0	5.5	
宮城県	数量	263,171	273,864	323,679	330,410	199,801	17,469
	単価	1,051	990	936	784	803	750
	シェア	71.2	63.1	54.6	61.5	61.5	16.2
佐賀県	数量	26,457	69,038	142,440	110,854	27,630	0
	単価	1,160	1,109	1,097	897	943	
	シェア	7.2	15.9	24.0	20.6	8.5	
北海道	数量	756	1,539	2,428	16,990	69,453	85,504
	単価	1,069	1,065	974	1,019	1,190	1,058
	シェア	0.2	0.4	0.4	3.2	21.4	79.3
福岡県	数量	29,788	27,653	48,878	9,176	0	0
	単価	1,484	1,376	1,186	985		
	シェア	8.1	6.4	8.2	1.7		

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	16,717	9,752	9,522	9,766	59,260	208,580	2,680,069
	単価	1,075	1,395	1,731	1,684	1,509	1,461	1,027
	前年比	68.9	81.5	69.0	87.8	126.7	86.6	96.5
福島県	数量	0	0	0	0	0	3,258	157,304
	単価						1,409	953
	シェア						1.6	5.9
宮城県	数量	0	0	0	1,040	51,514	128,242	1,589,190
	単価				2,140	1,514	1,410	972
	シェア				10.6	86.9	61.5	59.3
佐賀県	数量	0	0	0	0	0	13,118	389,537
	単価						1,476	1,048
	シェア						6.3	14.5
北海道	数量	14,374	7,115	5,167	5,480	3,468	1,003	213,277
	単価	1,026	1,400	2,031	1,789	1,237	965	1,151
	シェア	86.0	73.0	54.3	56.1	5.9	0.5	8.0
福岡県	数量	0	0	0	0	1,334	40,653	157,482
	単価					2,334	1,702	1,407
	シェア					2.3	19.5	5.9

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量





※主な販売期間

平成21年7月～平成21年9月

## 1 販売経過

- 早生種は昨年より約3日早めの順調な出荷となった。既に山梨産の入荷があったため、量販店において売り場が整っていた。
- 中生種は入荷が少なく、また小玉傾向であったことから、22～24玉サイズが販売の中心であった。
- 少量傾向であるとの情報があったため前倒しによる販売に努めたが、入荷量が衰えず在庫を抱えていた中で晩生種が入荷した。そのため晩生種の販売に苦慮した。

## 2 競合産地の動向

- 道外は、山梨・和歌山・新潟産の入荷がある。
- 山梨産、和歌山産とも前進出荷により盆前に入荷が少なく、販売終了の時期が例年より早かった。
- 温暖化の影響により、9月以降は青森産の入荷が増加している。

## 3 消費の動向

- 依然として盆需要が中心だが、その傾向は弱まっている。一方、盆明けの需要が定着してきており、需要のピークが平準化してきている。
- 大玉に関しては、13～15玉サイズよりは16玉サイズが量販店にとって好評である。
- 多くの量販店では、本県産に対して、大玉よりは小玉でも買いやすい価格のものを求めている。
- 黄桃は物珍しさもあって、盆前に特によく売れる。

## 4 課題と要望等

- 盆明けの需要に応えることもできる長期的な安定出荷。
- 品質管理の徹底。(特に上級品については、着色・食味がよいこと。)
- 的確かつ正確な産地情報の提供。(特に本年は後半の販売において、量やサイズの情報が不正確だった。)
- 早生・晩生種の有力品種の生産。

## 5 販売に係る提案

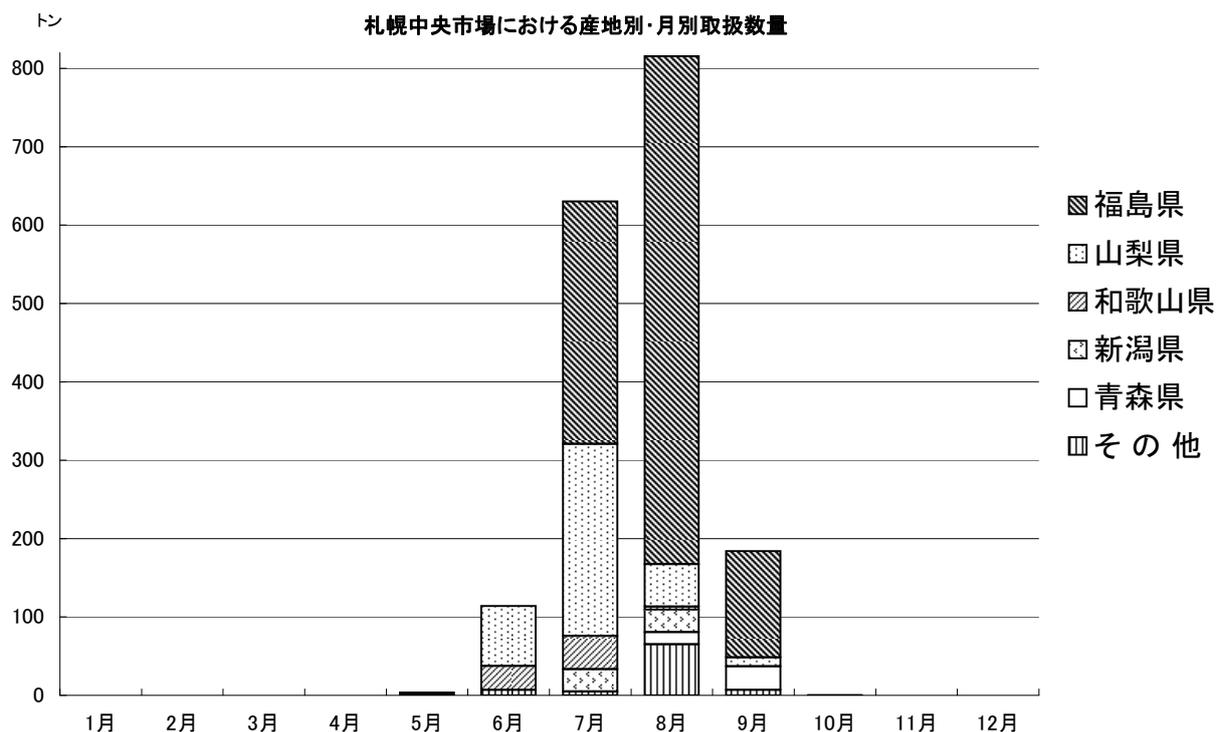
- 多様化するニーズに対応できるよう、産地と市場との連携強化。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：もも】

(単位：数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	0	0	0	5	3,574	113,886
	単価				2,696	1,418	523
	前年比	0.0	0.0	0.0	41.7	140.7	174.9
福島県	数量	0	0	0	0	0	22
	単価						3,031
	シェア						0.0
山梨県	数量	0	0	0	5	1,261	76,283
	単価				2,696	1,757	474
	シェア				100.0	35.3	67.0
和歌山県	数量	0	0	0	0	46	30,539
	単価					1,877	558
	シェア					1.3	26.8
新潟県	数量	0	0	0	0	0	0
	単価						
	シェア						
青森県	数量	0	0	0	0	0	0
	単価						
	シェア						

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	630,324	815,658	183,850	535	0	0	1,747,832
	単価	408	406	609	434			438
	前年比	100.0	88.6	145.3	42.5	0.0	0.0	100.1
福島県	数量	309,478	648,361	135,518	340	0	0	1,093,719
	単価	367	403	713	408			431
	シェア	49.1	79.5	73.7	63.6			62.6
山梨県	数量	244,936	54,150	11,135	0	0	0	387,770
	単価	462	631	427				491
	シェア	38.9	6.6	6.1				22.2
和歌山県	数量	42,636	4,060	0	0	0	0	77,281
	単価	435	566					491
	シェア	6.8	0.5					4.4
新潟県	数量	28,500	28,323	0	0	0	0	56,823
	単価	337	314					325
	シェア	4.5	3.5					3.3
青森県	数量	90	15,570	30,448	195	0	0	46,303
	単価	297	233	281	480			266
	シェア	0.0	1.9	16.6	36.4			2.6





※主な販売期間

平成21年8月～平成22年3月

## 1 販売経過

- 天候に恵まれ豊作であったため取扱数量も多かった。
- 他産地のものも多かったことや不況によるデフレ傾向から単価安で推移した。

## 2 競合産地の動向

- 道外は山形・新潟産の販売。
- 全国的にパック詰のものの出荷が多かった。
- 北海道産の取扱数量が増えている。(札幌市場においては前年比152.5% (H20年：225,960kg) となっている。)

## 3 消費の動向

- 大玉は1玉売り、小玉は4個詰パックの販売が主力となっている。
- 小売店での販売価格が1玉100円以上になると動きが極端に鈍くなった。

## 4 課題と要望等

- 品種毎に的確な産地情報の提供。
- 適正な時期の出荷。

# 札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）

【品目：なし】

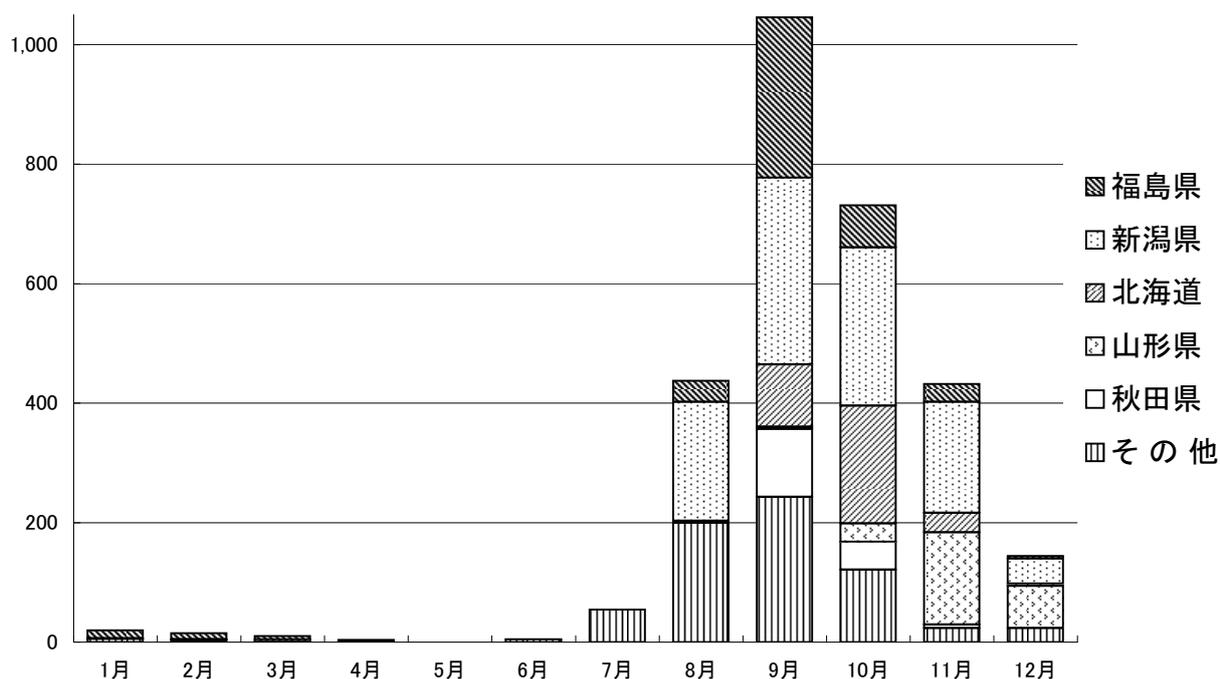
(単位：数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	19,597	14,763	10,289	3,779	0	4,876
	単価	256	227	192	104		725
	前年比	77.7	106.6	323.0	1349.6	0.0	125.4
福島県	数量	13,090	9,750	5,850	0	0	0
	単価	240	221	220			
	シェア	66.8	66.0	56.9			
新潟県	数量	150	1,470	500	0	0	0
	単価	158	263	105			
	シェア	0.8	10.0	4.9			
北海道	数量	0	0	2,839	3,289	0	0
	単価			185	185		
	シェア			27.6	87.0		
山形県	数量	858	362	0	0	0	0
	単価	290	256				
	シェア	4.4	2.5				
秋田県	数量	0	0	0	490	0	0
	単価				139		
	シェア				13.0		

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	54,269	437,212	1,045,736	730,992	432,305	144,229	2,898,047
	単価	432	277	193	174	209	296	214
	前年比	201.9	102.9	104.2	105.8	99.0	100.8	104.5
福島県	数量	0	34,960	268,840	70,393	30,139	4,382	437,404
	単価		237	199	206	197	246	205
	シェア		8.0	25.7	9.6	7.0	3.0	15.1
新潟県	数量	0	199,176	312,410	264,975	186,001	42,345	1,007,027
	単価		266	200	199	222	346	223
	シェア		45.6	29.9	36.2	43.0	29.4	34.7
北海道	数量	0	1,157	104,049	197,159	32,606	3,584	344,683
	単価		88	110	72	67	70	85
	シェア		0.3	9.9	27.0	7.5	2.5	11.9
山形県	数量	0	0	3,923	30,882	154,020	70,159	260,204
	単価			156	230	220	257	231
	シェア			0.4	4.2	35.6	48.6	9.0
秋田県	数量	0	2,110	113,695	46,386	6,023	0	168,704
	単価		212	204	208	218		205
	シェア		0.5	10.9	6.3	1.4		5.8

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量





※主な販売期間

平成21年11月～平成22年3月

## 1 販売経過

- 落果等により原料柿が少なかったため入荷も少なかった。そのため、価格は堅調に推移した。
- 乾燥状態が悪い商品が例年より多く見られた。
- 12月中旬から年末の需要期は化粧箱の入荷が多かったが、その他の時期については、トレー中心の動きであった。
- 平核無柿の入荷が減少していることから、蜂屋柿の販売の割合が増加傾向である。

## 2 競合産地の動向

- 長野産「市田柿」をはじめ、山形産や宮城産などの入荷がある。
- 他産地でも乾燥が進まず、入荷量の減が見られた。
- 宮城産は特に原料柿も不足していたことから、入荷減が顕著であった。

## 3 消費の動向

- 年末商材として、安定した需要がある。
- 需要は年々減少傾向にある。
- 健康志向の高まりにより、注目されつつある。

## 4 課題と要望等

- 品質管理の徹底と生産者格差の是正。
- 需要期の安定出荷。
- 平核無柿の出荷量増。
- 的確な産地情報の提供。
- トレー商品の割合増。

## 5 販売に係る提案

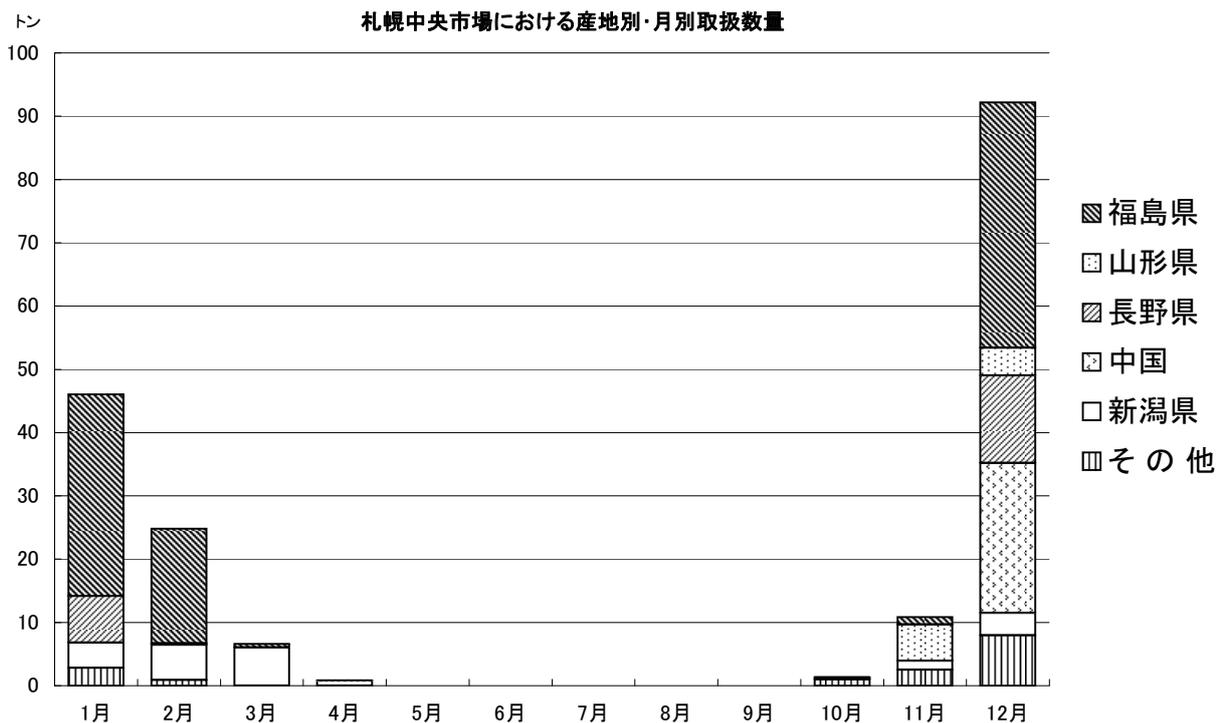
- 若者を中心とする新たな購買層へのPR強化。
- 消費宣伝の実施。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：干柿類】

(単位：数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	46,017	24,830	6,620	839	0	0
	単価	1,122	1,063	350	336		
	前年比	167.8	196.0	156.1	235.0	0.0	0.0
福島県	数量	31,843	18,121	569	14	0	0
	単価	1,116	1,281	1,447	1,602		
	シェア	69.2	73.0	8.6	1.7		
山形県	数量	0	0	0	0	0	0
	単価						
	シェア						
長野県	数量	7,356	279	0	0	0	0
	単価	1,569	1,879				
	シェア	16.0	1.1				
中国	数量	4,005	5,505	6,051	825	0	0
	単価	330	292	247	315		
	シェア	8.7	22.2	91.4	98.3		
新潟県	数量	2	0	0	0	0	0
	単価	1,407					
	シェア	0.0					

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	0	0	0	1,340	10,824	92,188	182,658
	単価				2,051	1,402	1,556	1,325
	前年比	0.0	0.0	0.0	101.5	122.2	100.5	124.6
福島県	数量	0	0	0	8	1,153	38,778	90,486
	単価				1,890	1,789	1,530	1,337
	シェア				0.6	10.7	42.1	49.5
山形県	数量	0	0	0	0	0	23,733	23,733
	単価						1,228	1,228
	シェア						25.7	13.0
長野県	数量	0	0	0	0	23	13,822	21,480
	単価					2,780	2,449	2,141
	シェア					0.2	15.0	11.8
中国	数量	0	0	0	30	1,410	3,500	21,326
	単価				357	405	415	315
	シェア				2.2	13.0	3.8	11.7
新潟県	数量	0	0	0	273	5,713	4,377	10,365
	単価				1,746	1,451	1,439	1,454
	シェア				20.4	52.8	4.7	5.7





※主な販売期間

平成21年8月～平成21年12月

## 1 販売経過

- 主に「巨峰」、「種なし巨峰」及び「ピオーネ」の販売。
- 入荷量が多かったが、他産地も同様であったため、販売価格は低迷した。特にピオーネに関して苦戦した。
- 10月以降は他産地の入荷が少なかったため、引き合いが強かった。

## 2 競合産地の動向

- 山梨・山形・長野産などの入荷がある。
- 各産地とも前進出荷傾向であったが、高温障害により品質が悪いものが見られた。

## 3 消費の動向

- 大粒で食味の良いものに人気が集まっている。
- 種なし品種に人気が集まっている。
- 1房売りが中心であり、化粧箱の商品がかなり減っている。

## 4 課題と要望等

- 品質管理の徹底（カビや赤玉の防止。特に出荷終了近くの時期。）
- 運送時の脱粒対策の強化。
- 安定出荷。集中出荷の回避。
- 的確な産地情報の提供。
- 大房中心の生産。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：ぶどう】

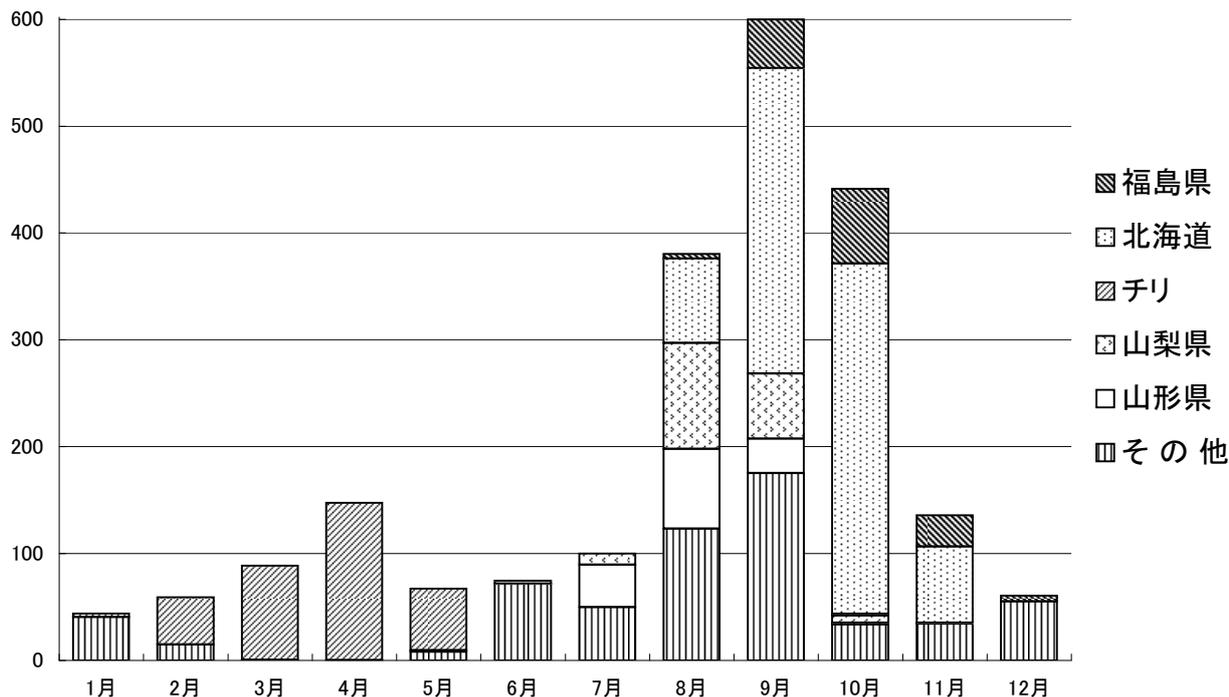
(単位：数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	43,861	59,266	88,674	147,646	67,165	74,623
	単価	433	400	308	298	478	965
	前年比	118.2	153.4	143.8	212.7	88.0	89.7
福島県	数量 単価 シェア	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
北海道	数量 単価 シェア	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
チリ	数量 単価 シェア	3,104 450 7.1	44,260 392 74.7	88,222 305 99.5	147,227 296 99.7	57,598 295 85.8	410 243 0.5
山梨県	数量 単価 シェア	0 0 0	0 0 0	0 0 0	42 4,075 0.0	1,425 2,258 2.1	2,493 1,388 3.3
山形県	数量 単価 シェア	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	100,047	380,450	600,007	441,219	135,906	60,532	2,199,396
	単価	768	585	416	309	409	458	448
	前年比	113.6	96.7	107.1	144.7	152.7	70.5	116.5
福島県	数量 単価 シェア	0 0 0	4,624 1,054 1.2	45,864 692 7.6	69,868 728 15.8	29,290 876 21.6	5,255 884 8.7	154,901 761 7.0
北海道	数量 単価 シェア	8 1,260 0.0	78,675 488 20.7	285,562 310 47.6	327,657 189 74.3	71,474 197 52.6	0 0 0	763,376 266 34.7
チリ	数量 単価 シェア	0 0 0	164 410 0.0	16 420 0.0	1,443 368 0.3	651 407 0.5	148 355 0.2	343,243 312 15.6
山梨県	数量 単価 シェア	10,334 1,009 10.3	98,994 776 26.0	60,960 642 10.2	7,089 585 1.6	144 490 0.1	0 0 0	181,481 757 8.3
山形県	数量 単価 シェア	39,973 609 40.0	74,769 454 19.7	32,418 325 5.4	1,405 592 0.3	20 693 0.0	0 0 0	148,585 469 6.8

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量





※主な販売期間

平成21年7月～平成21年9月

## 1 販売経過

- 「大石」「ソルダム」の販売が中心。
- 産地との連携が良かったため販売は好調であり、比較的高値での販売となった。

## 2 競合産地の動向

- 山梨・山形・和歌山産などの入荷がある。
- 天候不順による不作のため、各産地とも取扱数量が減少した。

## 3 消費の動向

- 「太陽」や「貴陽」など大玉系の人気が増えている。そのため、「大石」や「ソルダム」などの従来プラムは、動きが厳しくなっている。
- 季節の商材であり、パック物で購入しやすい単価なので、消費者に好まれている。

## 4 課題と要望等

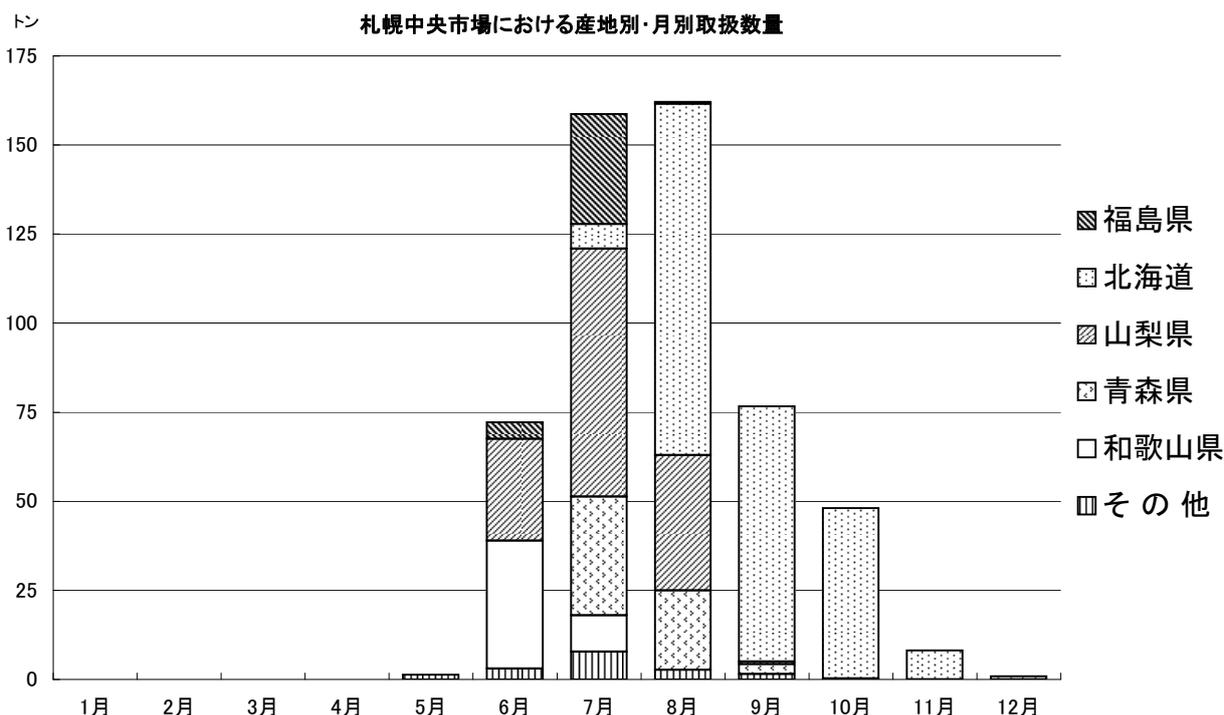
- 短期間販売であることを踏まえた、適時かつ正確な産地情報の提供。
- 安定出荷。
- 品質管理の徹底。特に輸送中のキズの防止。
- 大玉系の生産。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：すもも】

(単位：数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	4	1	3	6	1,339	72,155
	単価	759	1,617	1,134	1,059	942	568
	前年比	50.0	20.0	75.0	60.0	164.7	93.5
福島県	数量	0	0	0	0	0	4,616
	単価						589
	シェア						6.4
北海道	数量	4	1	3	6	2	3
	単価	759	1,617	1,134	1,059	1,260	1,004
	シェア	100.0	100.0	100.0	100.0	0.1	0.0
山梨県	数量	0	0	0	0	0	28,590
	単価						551
	シェア						39.6
青森県	数量	0	0	0	0	0	0
	単価						
	シェア						
和歌山県	数量	0	0	0	0	0	35,927
	単価						563
	シェア						49.8

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	158,667	162,137	76,706	48,109	8,186	901	528,214
	単価	468	363	311	283	320	421	409
	前年比	131.8	113.2	127.5	218.4	524.1	30033.3	124.2
福島県	数量	30,892	548	0	0	0	0	36,056
	単価	520	515					529
	シェア	19.5	0.3					6.8
北海道	数量	6,855	98,595	71,673	47,871	8,186	901	234,100
	単価	180	266	306	283	320	421	282
	シェア	4.3	60.8	93.4	99.5	100.0	100.0	44.3
山梨県	数量	69,572	37,986	693	0	0	0	136,841
	単価	525	630	475				559
	シェア	43.8	23.4	0.9				25.9
青森県	数量	33,383	22,283	2,819	216	0	0	58,701
	単価	368	316	321	210			346
	シェア	21.0	13.7	3.7	0.4			11.1
和歌山県	数量	10,198	0	0	0	0	0	46,125
	単価	473						543
	シェア	6.4						8.7



### Ⅲ 主要野菜の品目別販売経過



※主な販売期間

平成21年9月～平成22年4月

#### 1 販売経過

- 販売開始直後は市況が低迷していたが、12月になると市況も回復し高値で取引されるようになった。以降2月頃までは順調な販売であった。
- 黄変・トロケなどの傷みが年々少なくなっているものの、依然として無くなってはいない。トロケよりも黄変など他の事故の割合が増えている。

#### 2 競合産地の動向

- 道外は、高知、栃木、群馬、茨城産が主力で、宮崎産の入荷もある。
- 道内は、知内産が主力。1月から販売が始まるため、1月は府県産と競合。本年の道内産は株養成が悪く、出荷数量が少なかった。
- 道内の出荷期間が長くなってきており、本県産と競合する期間が長くなってきている。

#### 3 消費の動向

- 秋冬期の緑黄色野菜として安定した消費があり、量販店での特売などによる活発な動きも見られる。
- 結束商品よりはF G袋にこだわる店舗が増加してきている。
- 本県産を指定して要望する量販店も少なくない。

#### 4 課題と要望等

- トロケ・黄変などの品質低下対策の継続。
- F G対応の強化。(F Gを中心に出荷してほしい)
- 農協間や生産者間の品質格差の是正。
- 安定出荷。

#### 5 販売に係る提案

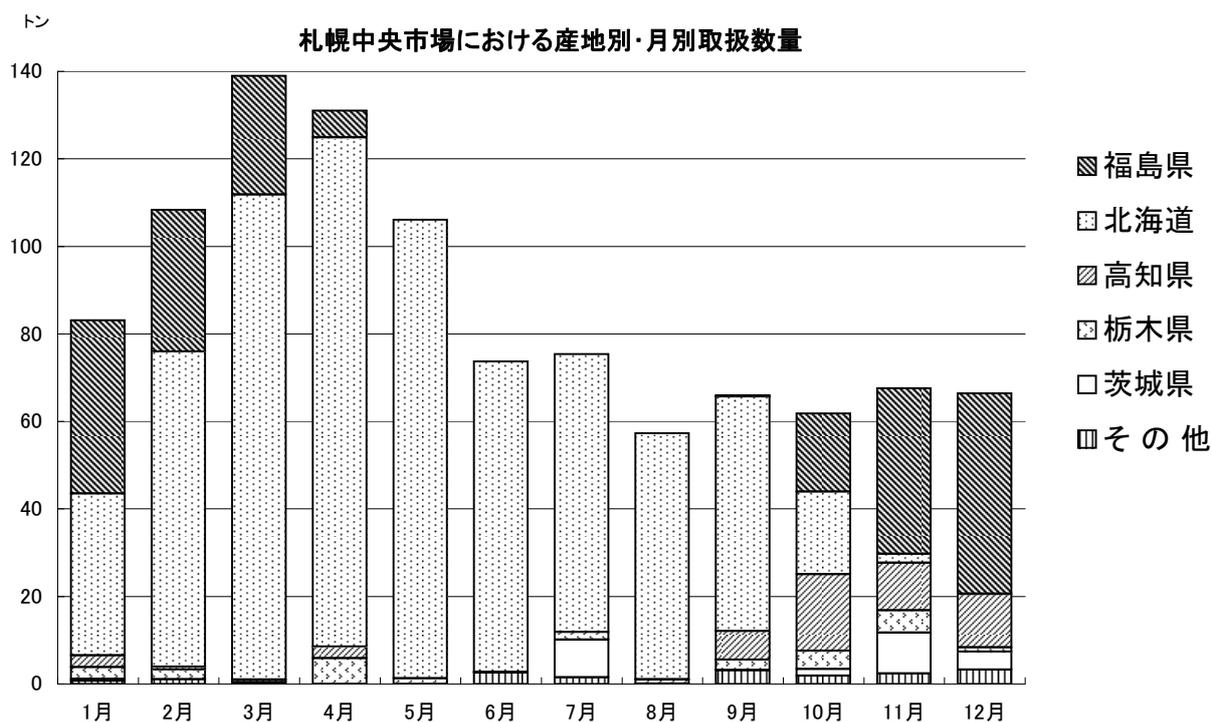
- リレー出荷による量販店への予約販売。
- 週間オーダー制の実施。
- 積極的な試食宣伝の実施。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：にら】

(単位：数量Kg, 単価円, 比率% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	83,135	108,332	139,004	131,032	106,114	73,753
	単価	670	677	495	514	375	369
	前年比	106.3	93.3	89.5	93.4	91.4	100.3
福島県	数量	39,594	32,330	27,140	6,105	0	0
	単価	578	579	367	405		
	構成比	47.6	29.8	19.5	4.7		
北海道	数量	36,984	72,051	110,874	116,386	104,778	70,965
	単価	749	719	527	524	377	363
	構成比	44.5	66.5	79.8	88.8	98.7	96.2
高知県	数量	2,660	680	570	2,645	0	0
	単価	1,141	1,262	452	674		
	構成比	3.2	0.6	0.4	2.0		
栃木県	数量	2,732	2,200	416	5,896	1,336	156
	単価	510	454	315	369	234	342
	構成比	3.3	2.0	0.3	4.5	1.3	0.2
茨城県	数量	400	0	0	0	0	0
	単価	249					
	構成比	0.5					

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	75,406	50,710	66,007	61,839	67,589	66,427	1,029,348
	単価	430	626	650	637	624	694	551
	前年比	108.0	75.3	99.4	93.7	112.5	109.7	96.2
福島県	数量	0	0	295	17,850	37,863	45,813	206,990
	単価			523	533	560	643	552
	構成比			0.4	28.9	56.0	69.0	20.1
北海道	数量	63,486	56,245	53,595	18,880	1,984	30	706,258
	単価	482	554	666	711	789	648	533
	構成比	84.2	110.9	81.2	30.5	2.9	0.0	68.6
高知県	数量	0	101	6,550	17,500	10,880	12,175	53,761
	単価		887	717	746	847	844	805
	構成比		0.2	9.9	28.3	16.1	18.3	5.2
栃木県	数量	1,808	892	2,372	4,157	5,145	1,072	28,182
	単価	271	419	552	441	476	604	432
	構成比	2.4	1.8	3.6	6.7	7.6	1.6	2.7
茨城県	数量	8,604	-6,628	60	1,552	9,342	4,040	17,370
	単価	63	-9	466	690	691	836	670
	構成比	11.4	-13.1	0.1	2.5	13.8	6.1	1.7





※主な販売期間

平成21年11月～平成22年5月

## 1 販売経過

- 入荷量が少なかったため、販売価格は単価高で推移した。
- 出荷量が安定していたため量販店の特売商材になりやすかった。

## 2 競合産地の動向

- 道外は、栃木・宮城・茨城・群馬・千葉産の入荷があるが、品質や数量の不安定が見られる。
- 12月中旬から1月にかけては寒波が到来したため、その影響により各産地の出荷量が減少した。

## 3 消費の動向

- 冬場の需要は比較的安定している。(しかし鍋需要に偏っているため、消費地の天候により販売数量が増減する)
- 数年来競合品目であったみず菜の流行は落ち着いてきている。

## 4 課題と要望等

- 黄変対策等による品質向上。(特に春先の気候が温暖になってくる時期)
- 安定出荷の継続。
- 農協間や生産者間の品質格差の是正。
- 作付の維持。(作付が減少した場合他産地にシェアを奪われるおそれあり)

## 5 販売に係る提案

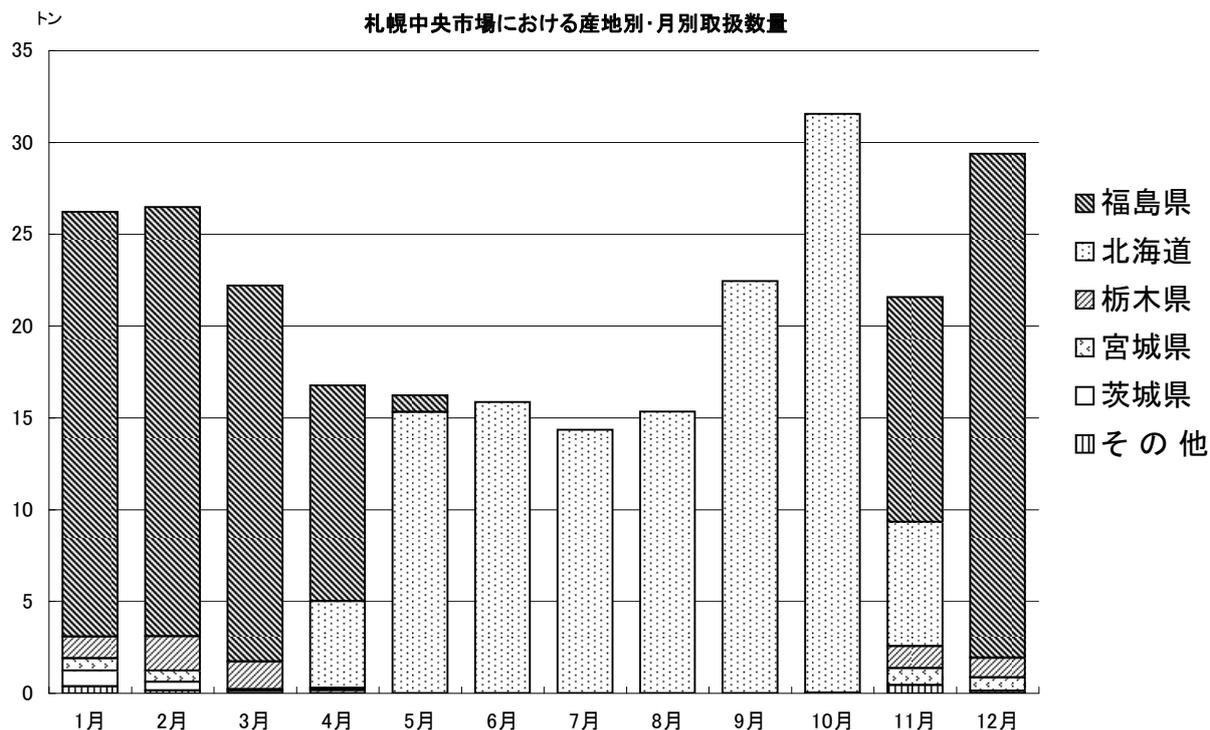
- 週間オーダー制の実施。
- 鍋以外の調理法の提案。
- 定期的な消費宣伝活動の実施。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：しゅんぎく】

(単位：数量Kg, 単価円, 比率%, 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	26,224	26,484	22,212	16,775	16,229	15,874
	単価	627	426	431	515	430	400
	前年比	102.4	102.5	72.5	85.2	90.9	93.3
福島県	数量	23,129	23,373	20,474	11,745	903	0
	単価	635	432	438	494	423	
	構成比	88.2	88.3	92.2	70.0	5.6	
北海道	数量	0	0	11	4,730	15,326	15,874
	単価			573	554	431	400
	構成比			0.0	28.2	94.4	100.0
栃木県	数量	1,187	1,872	1,508	120	0	0
	単価	547	391	341	473		
	構成比	4.5	7.1	6.8	0.7		
宮城県	数量	669	606	75	180	0	0
	単価	505	416	353	826		
	構成比	2.6	2.3	0.3	1.1		
茨城県	数量	855	468	144	0	0	0
	単価	589	362	315			
	構成比	3.3	1.8	0.6			

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	14,356	15,337	22,455	31,554	21,576	29,379	258,455
	単価	497	752	420	434	507	665	509
	前年比	95.1	80.9	77.2	82.7	80.7	84.1	86.3
福島県	数量	0	0	0	0	12,249	27,424	119,297
	単価					532	679	546
	構成比					56.8	93.3	46.2
北海道	数量	14,356	15,337	22,455	31,515	6,751	22	126,377
	単価	497	752	420	434	484	42	480
	構成比	100.0	100.0	100.0	99.9	31.3	0.1	48.9
栃木県	数量	0	0	0	0	1,207	1,065	6,959
	単価					426	468	426
	構成比					5.6	3.6	2.7
宮城県	数量	0	0	0	0	923	729	3,182
	単価					515	454	494
	構成比					4.3	2.5	1.2
茨城県	数量	0	0	0	0	0	19	1,486
	単価						414	489
	構成比						0.1	0.6



## 1 販売経過

- 道産の在庫や前進出荷した千葉産、神奈川県産と競合したため、単価安での販売となった。
- 凍結による品質低下があったため、販売終了が例年より早かった。
- 取扱数量は前年より減少したものの、比較的安定して販売できた。

## 2 競合産地の動向

- 道内産、千葉産、茨城産、神奈川県産が販売の中心。
- 資材費の値上がりから、春物の出荷量が減少し、秋冬の植付けが増反する傾向にある。
- 暖秋により道内産の販売期間が長くなってきている。
- 関東の各産地での作付けは、減ることがあっても増えることはないと思われる。

## 3 消費の動向

- 11月から12月にかけて本県産の需要は多い。
- 量販店でのカット販売が増えてきている。
- 2L、Lサイズを中心に比較的順調に販売。
- 単価的に値ごろ感があり、荷動きが良かった。

## 4 課題と要望等

- 安定出荷。
- 生産者格差の改善。
- 最終出荷がもう1週間くらい後だとよい。

## 5 販売に係る提案

- 加工向けの販売強化。
- 年末需要期の出荷増。
- コンテナにより量販店のセンターへ配送の継続。

# 札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月） 【品目：だいこん】

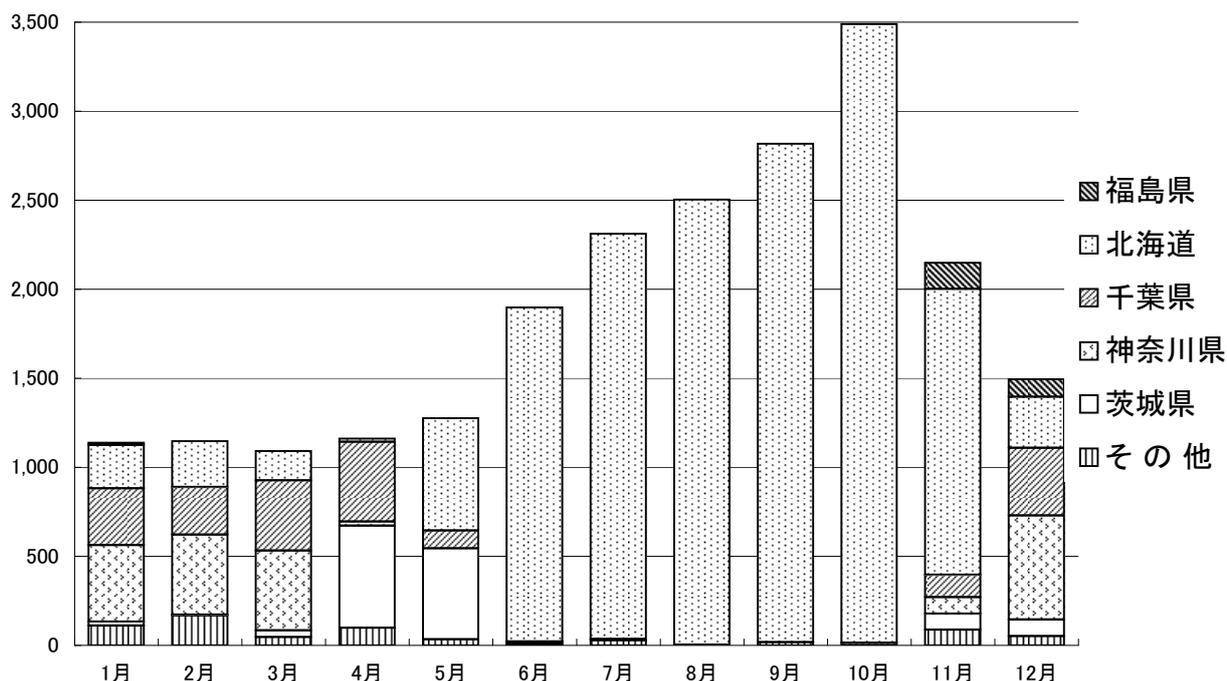
(単位:数量Kg, 単価円, 比率% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	1,138,388	1,146,753	1,091,559	1,160,494	1,276,194	1,898,459
	単価	79	85	87	115	101	80
	前年比	76.9	82.7	89.6	102.4	89.6	91.8
福島県	数量	12,960	0	0	0	0	0
	単価	53					
	構成比	1.1					
北海道	数量	243,339	258,013	165,682	16,350	630,170	1,876,921
	単価	59	66	60	88	104	80
	構成比	21.4	22.5	15.2	1.4	49.4	98.9
千葉県	数量	319,231	266,880	393,735	448,580	101,331	4,680
	単価	81	90	96	124	93	89
	構成比	28.0	23.3	36.1	38.7	7.9	0.2
神奈川県	数量	430,998	450,200	448,132	23,664	0	0
	単価	88	92	89	127		
	構成比	37.9	39.3	41.1	2.0		
茨城県	数量	21,330	2,960	37,870	572,980	510,943	11,428
	単価	53	73	94	108	99	68
	構成比	1.9	0.3	3.5	49.4	40.0	0.6

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	2,312,170	2,504,375	2,816,878	3,488,597	2,148,350	1,495,377	22,477,594
	単価	61	81	71	41	45	60	70
	前年比	85.5	83.3	100.4	83.2	116.6	101.1	90.8
福島県	数量	0	0	0	0	145,950	99,734	258,644
	単価					62	54	59
	構成比					6.8	6.7	1.2
北海道	数量	2,277,020	2,501,405	2,799,818	3,474,787	1,606,288	285,962	16,135,755
	単価	61	81	71	41	42	50	63
	構成比	98.5	99.9	99.4	99.6	74.8	19.1	71.8
千葉県	数量	990	0	0	13,810	125,570	380,515	2,055,322
	単価	70			57	55	62	90
	構成比	0.0			0.4	5.8	25.4	9.1
神奈川県	数量	0	0	0	0	92,990	584,020	2,030,004
	単価					56	64	81
	構成比					4.3	39.1	9.0
茨城県	数量	4,620	0	0	0	89,395	92,810	1,344,336
	単価	68				49	51	95
	構成比	0.2				4.2	6.2	6.0

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量



No. 4

ブロッコリー

※主な販売期間

春ブロッコリー

平成21年5月～平成21年6月

秋ブロッコリー

平成21年11月～平成22年2月

## 1 販売経過

- 春ブロッコリーは関東産終了後から道内産出荷前までの販売。
- 秋ブロッコリーは道内産の在庫がある中での販売開始となり苦戦した。前進出荷していたため、市況が回復した1月の取扱数量が少なかった。

## 2 競合産地の動向

- 12月までは埼玉、群馬の関東産、1月から愛知産と競合する。
- 他産地での作付は増反傾向。

## 3 消費の動向

- 国産志向が強い。
- 1玉100～200円の価格帯で定番化している。
- L玉を中心に順調に販売されているが、特売等ではMサイズが商材となる。

## 4 課題と要望等

- 1月の出荷の増加。
- 氷入り発泡スチロールでの流通の継続。

# 札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月） 【品目：ブロッコリー】

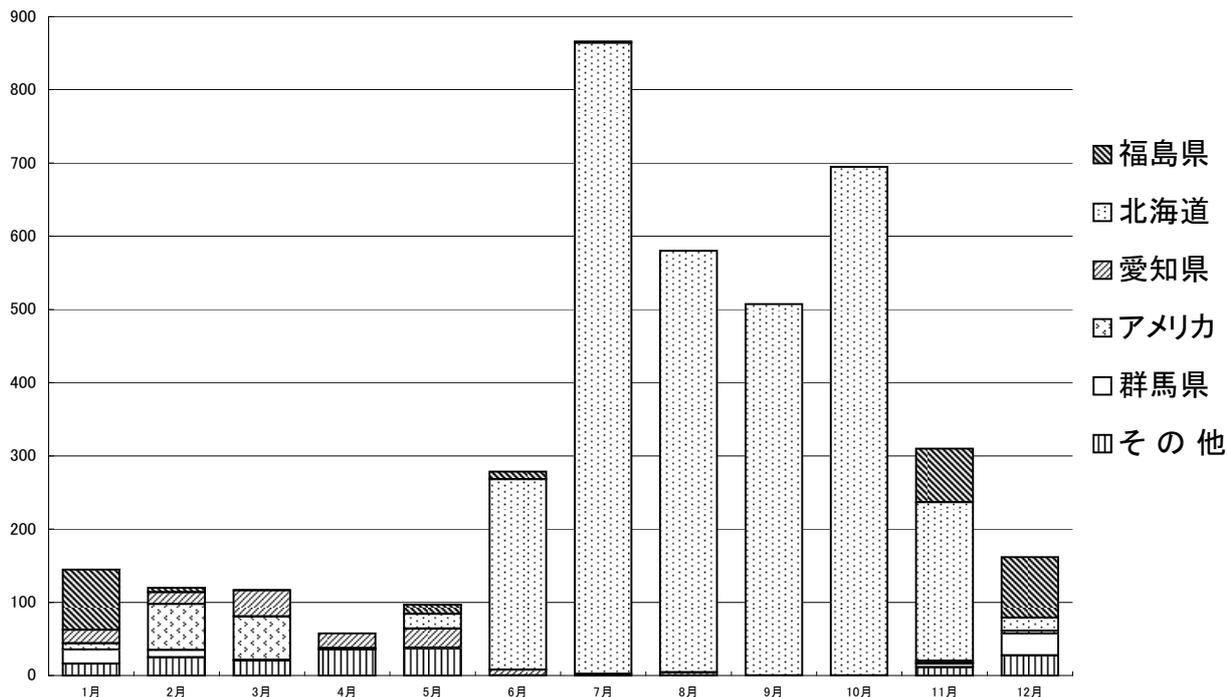
(単位：数量Kg, 単価円, 比率%, 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	144,757	120,016	116,831	57,345	96,668	278,437
	単価	341	261	286	437	383	351
	前年比	112.6	116.6	97.1	57.9	86.5	83.8
福島県	数量	82,626	6,384	534	0	12,608	10,344
	単価	371	364	339		369	329
	構成比	57.1	5.3	0.5		13.0	3.7
北海道	数量	0	0	0	0	20,092	260,413
	単価					536	359
	構成比					20.8	93.5
愛知県	数量	9,121	62,751	59,270	1,885	376	0
	単価	402	280	360	523	26	
	構成比	6.3	52.3	50.7	3.3	0.4	
アメリカ	数量	17,900	15,960	35,497	19,830	25,920	7,680
	単価	153	109	126	211	147	126
	構成比	12.4	13.3	30.4	34.6	26.8	2.8
群馬県	数量	18,788	10,210	980	0	820	0
	単価	388	238	235		213	
	構成比	13.0	8.5	0.8		0.8	

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	866,019	580,262	507,251	694,896	309,716	161,517	3,933,715
	単価	289	341	357	237	199	285	299
	前年比	99.7	85.7	79.4	110.1	173.1	84.1	96.4
福島県	数量	1,680	0	0	0	72,957	82,461	269,594
	単価	310				244	328	321
	構成比	0.2				23.6	51.1	6.9
北海道	数量	862,339	575,942	507,251	694,896	216,915	18,069	3,155,917
	単価	289	342	357	237	190	173	298
	構成比	99.6	99.3	100.0	100.0	70.0	11.2	80.2
愛知県	数量	0	0	0	0	846	4,016	138,265
	単価					93	331	325
	構成比					0.3	2.5	3.5
アメリカ	数量	0	4,320	0	0	2,880	0	129,987
	単価		144			19		143
	構成比		0.7			0.9		3.3
群馬県	数量	0	0	0	0	4,678	29,424	64,900
	単価					210	241	280
	構成比					1.5	18.2	1.6

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量





※主な販売期間

平成21年11月～平成22年4月

## 1 販売経過

- 寒波の影響もあり入荷量が少なかったが、順調な販売であった。

## 2 競合産地の動向

- 道内産が主体。通年で入荷がある。
- 道外は、青森、茨城・埼玉・群馬産などの入荷がある。
- 茨城産は入荷量が安定しなかった。

## 3 消費の動向

- 主力商品として、通年での安定した需要がある。
- 12～1月が一番の需要期。
- 一時のブームは落ち着いた。

## 4 課題と要望等

- 安定出荷と品質の安定。
- 作付面積の維持。

## 5 販売に係る提案

- 量販店などへの継続販売による定着化。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：みず菜】

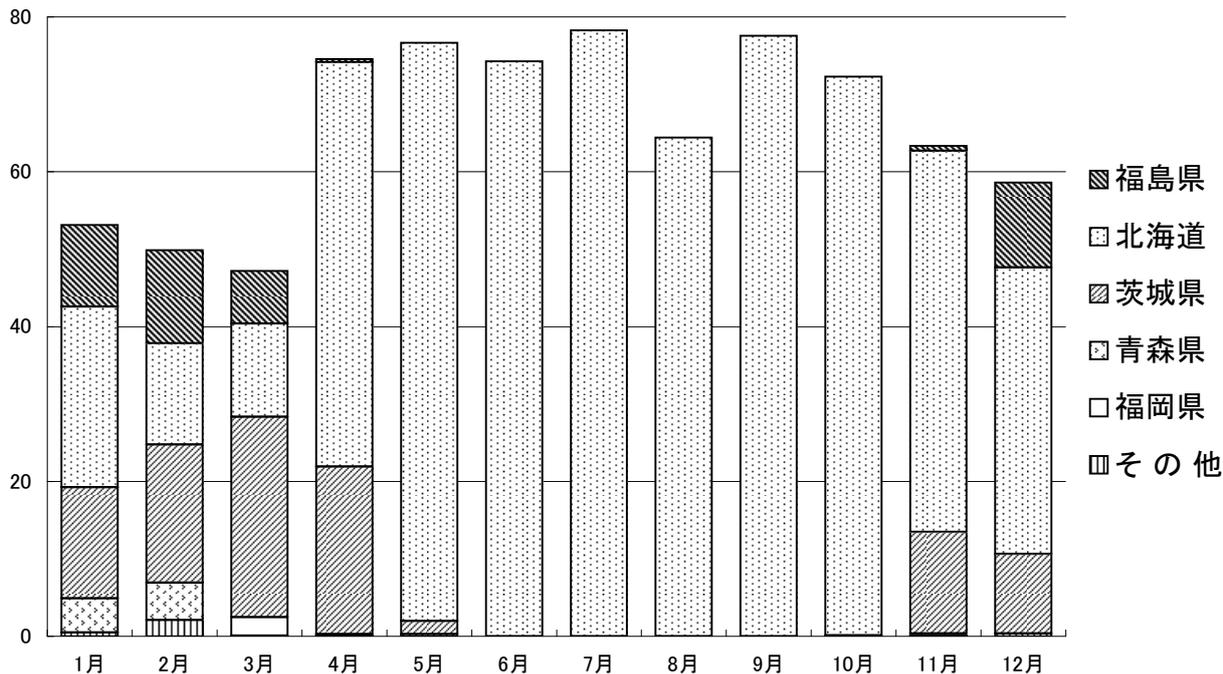
(単位：数量Kg, 単価円, 比率%, 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	53,108	49,874	47,198	74,543	76,656	74,289
	単価	494	455	470	367	316	266
	前年比	122.6	120.1	82.6	92.4	75.5	90.5
福島県	数量	10,532	12,052	6,788	404	0	0
	単価	588	559	483	606		
	構成比	19.8	24.2	14.4	0.5		
北海道	数量	23,331	13,042	12,035	52,222	74,666	74,289
	単価	482	450	464	380	319	266
	構成比	43.9	26.1	25.5	70.1	97.4	100.0
茨城県	数量	14,342	17,852	25,909	21,641	1,698	0
	単価	464	423	458	330	214	
	構成比	27.0	35.8	54.9	29.0	2.2	
青森県	数量	4,400	4,840	0	0	0	0
	単価	435	363				
	構成比	8.3	9.7				
福岡県	数量	0	0	2,376	160	0	0
	単価			597	406		
	構成比			5.0	0.2		

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	78,257	64,418	77,562	72,278	63,362	58,609	790,154
	単価	273	404	256	295	394	583	367
	前年比	100.6	85.8	101.3	89.2	99.9	81.1	92.7
福島県	数量	0	0	0	0	660	10,984	41,420
	単価					541	668	583
	構成比					1.0	18.7	5.2
北海道	数量	78,257	64,418	77,562	72,166	49,245	37,010	628,243
	単価	273	404	256	295	398	557	342
	構成比	100.0	100.0	100.0	99.8	77.7	63.1	79.5
茨城県	数量	0	0	0	112	13,095	10,229	104,878
	単価				246	373	582	424
	構成比				0.2	20.7	17.5	13.3
青森県	数量	0	0	0	0	36	0	9,276
	単価					315		397
	構成比					0.1		1.2
福岡県	数量	0	0	0	0	186	0	2,722
	単価					462		577
	構成比					0.3		0.3

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量





※主な販売期間

平成21年12月～平成22年4月

## 1 販売経過

- 年内は根曲がり、年明けより直立の販売。
- 株養成が不十分で茎が細く、1パックの本数が例年の1.5倍程度であったため、販売パック数が伸びなかった。
- 数量減により量販店の特売商材になりにくかった。特売商材とした場合でも同時に多店舗での展開が難しかった。

## 2 競合産地の動向

- 年明けから道内の洞爺・豊浦産などの入荷がある。

## 3 消費の動向

- 冬期間における栄養価の高い野菜として消費は安定しているが、年々、消費量は減少傾向にある。
- 世代によっては消費者の認知度が低い。食べ方を知らない人も多い。
- ネギ等の他品目の相場に影響される。
- 一般量販店での販売が主となっている。

## 4 課題と要望等

- 安定出荷。
- 出荷数量の増加。
- 品質安定。
- 特に食べ方の消費宣伝。
- 40パック入りの規格では入数が多くロスになることもあるため、少ない入り数も検討して欲しい。

## 5 販売に係る提案

- 試食販売の実施。
- 色々な調理の仕方の検討。

札幌中央卸売市場における主要産地別・月別取扱数量（21年1月～21年12月）  
【品目：あさつき】

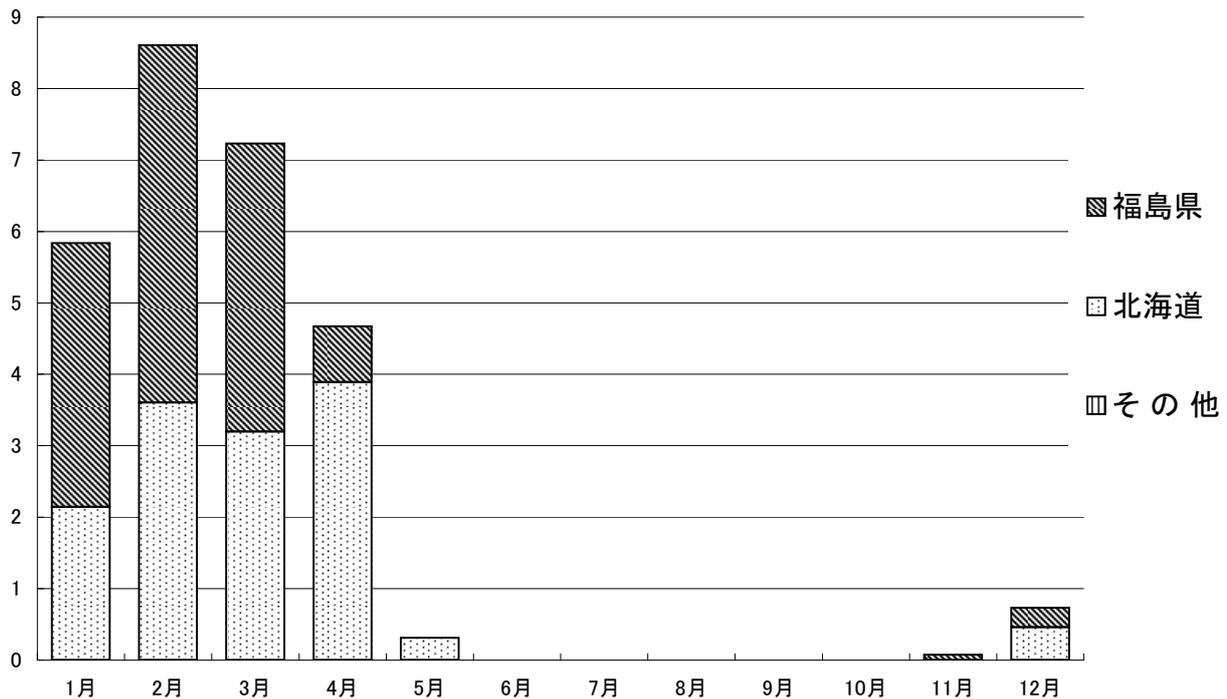
(単位:数量Kg, 単価円, 比率%, 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	5,836	8,607	7,231	4,672	314	0
	単価	874	701	688	608	544	
	前年比	122.1	95.0	94.8	125.7	6280.0	0.0
福島県	数量	3,691	5,004	4,032	780	0	0
	単価	836	682	609	639		
	構成比	63.2	58.1	55.8	16.7		
北海道	数量	2,145	3,603	3,199	3,892	314	0
	単価	941	727	788	602	544	
	構成比	36.8	41.9	44.2	83.3	100.0	
	数量						
	単価						
	構成比						
	数量						
	単価						
	構成比						

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	0	0	0	0	78	732	27,470
	単価					852	820	720
	前年比	0.0	0.0	0.0	0.0	-	131.9	106.7
福島県	数量	0	0	0	0	78	270	13,855
	単価					852	470	696
	構成比					100.0	36.9	50.4
北海道	数量	0	0	0	0	0	462	13,615
	単価						1,025	745
	構成比						63.1	49.6
	数量							
	単価							
	構成比							
	数量							
	単価							
	構成比							

トン

札幌中央市場における産地別・月別取扱数量



◎準主要果実の札幌中央卸売市場における月別取扱数量（21年1月～21年12月）

【さくらんぼ】

(単位:数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	7	35	1	494	32,952	92,029
	単価	8,250	570	25,725	3,751	1,282	1,289
	前年比	63.6	87.5	-	233.0	111.8	101.1
福島県	数量	0	0	0	0	0	3,888
	単価						2,147
	シェア						4.2

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	175,071	10,329	-1	0	0	12	310,929
	単価	1,252	1,369	7,245			2,625	1,274
	前年比	98.0	200.9	-0.4	0.0	0.0	16.0	102.0
福島県	数量	0	0	0	0	0	0	3,888
	単価							2,147
	シェア							1.3

【りんご】

(単位:数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	716,595	947,376	806,460	810,517	617,616	521,192
	単価	175	170	177	206	240	256
	前年比	118.5	125.4	95.1	94.2	84.2	92.5
福島県	数量	4,120	0	0	0	0	0
	単価	140					
	シェア	0.6					

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	333,690	383,378	884,957	1,230,571	972,960	835,968	9,061,280
	単価	291	253	171	165	179	203	195
	前年比	82.1	103.3	97.8	107.9	96.7	88.9	99.2
福島県	数量	490	25,090	15,290	18,930	51,380	120,050	235,350
	単価	222	221	187	145	151	132	151
	シェア	0.1	6.5	1.7	1.5	5.3	14.4	2.6

【かき】

(単位:数量Kg, 単価円, シェア% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	16,531	1,753	3,044	2,678	327	0
	単価	268	349	395	193	221	
	前年比	29.3	9.3	387.3	797.0	135.7	0.0
福島県	数量	2,425	0	225	0	0	0
	単価	298		546			
	シェア	14.7		7.4			

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	4,668	25,059	672,273	1,676,767	1,359,316	317,102	4,079,518
	単価	994	643	278	185	198	346	221
	前年比	113.7	99.2	129.4	89.1	85.7	120.5	93.6
福島県	数量	0	0	0	0	2,520	22,130	27,300
	単価					204	303	295
	シェア					0.2	7.0	0.7

◎準主要野菜の札幌中央卸売市場における月別取扱数量（21年1月～21年12月）

【きゅうり】

(単位:数量Kg, 単価円, 比率% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	433,735	478,989	557,778	782,189	978,181	1,249,190
	単価	357	351	425	231	179	209
	前年比	116.0	94.9	86.0	120.8	114.8	108.9
福島県	数量	0	0	2,780	8,975	16,800	24,880
	単価			333	213	213	256
	構成比			0.5	1.1	1.7	2.0

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	1,504,095	1,428,431	1,185,759	695,852	406,683	431,151	10,132,033
	単価	196	217	174	207	334	391	240
	前年比	88.2	98.3	90.7	88.4	111.7	93.1	98.8
福島県	数量	0	0	1,500	16,635	8,530	0	80,100
	単価			126	244	276		242
	構成比			0.1	2.4	2.1		0.8

【ねぎ】

(単位:数量Kg, 単価円, 比率% 前年比は数量比)

産地	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総計	数量	544,740	520,448	549,400	519,390	492,204	534,222
	単価	305	255	262	272	381	445
	前年比	106.7	116.7	119.3	108.4	89.4	92.5
福島県	数量	2,835	750	288	0	0	0
	単価	177	197	263			
	構成比	0.5	0.1	0.1			

産地	月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
総計	数量	579,574	879,769	1,061,933	1,206,724	807,195	714,741	8,410,340
	単価	366	284	205	186	231	288	274
	前年比	82.9	83.3	88.1	98.9	99.5	88.9	95.3
福島県	数量	0	0	0	0	30	2,235	6,138
	単価					284	290	225
	構成比					0.0	0.3	0.1

## 参考資料 1

### 福島県青果物北海道荷受機関連絡協議会（福北会）会員名簿

平成22年6月1日 現在

会 社 名	代 表 者	電 話 番 号	住 所
丸果函館合同青果 株式会社	勝 木 俊 彰	0138-49-5151	〒041-0824 函館市西桔梗町589-25
樽一小樽中央青果 株式会社	伊 藤 進	0134-32-3151	〒047-0006 小樽市有幌町1-10
丸果札幌青果 株式会社	勇 崎 恒 宏	011-641-3161	〒060-8692 札幌市中央区北12条西20丁目2-2
札幌ホクレン青果 株式会社	増 田 公 昭	011-643-3211	〒060-0012 札幌市中央区北12条西20丁目2-2
丸果室蘭青果 株式会社	渡 一 広	0143-44-1411	〒050-8691 室蘭市日の出町2丁目3-1
丸一苫小牧中央青果 株式会社	島 忠 義	0144-32-8151	〒053-0004 苫小牧市港町2丁目2-2
株 式 会 社 岩 三	大 西 邦 雄	0126-23-1211	〒068-0854 岩見沢市大和4条7丁目22
丸果旭川青果卸売市場 株式会社	辻 利 郎	0166-48-3231	〒079-8651 旭川市流通団地1条3丁目14-3
株 式 会 社 キ ョ ク イ チ	中 川 竹 志	0166-48-3141	〒079-8650 旭川市流通団地1条2丁目
帯広地方卸売市場 株式会社	山 室 俊 晴	0155-37-3333	〒080-2461 帯広市西21条北1丁目5-1
丸中釧路中央青果 株式会社	横 地 敏 光	0154-51-5111	〒084-0904 釧路市新富士町6丁目1-23
株 式 会 社 マ ル キ タ	立 田 哲 朗	0157-36-2111	〒099-0878 北見市東相内町39-1

#### 関係機関

全国農業協同組合福島県本部 東日本園芸販売事務所	東 瀬 英 治	03-3526-3302	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-7
福島県 農林水産部 農産物安全流通課	小 檜 山 均	024-521-7371	〒960-8670 福島市杉妻町2-16
福島県 北海道事務所	太 田 崇 弘	011-241-8717	〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目2-1 北海道経済センター 5階

## 参考資料 2

### 平成 22 年度 福島県青果物北海道荷受機関 連絡協議会（福北会） 役員

（敬称略）

役 職	所 属 ・ 会 社 名	役 職 名	氏 名
会 長	丸 果 札 幌 青 果 (株)	代 表 取 締 役 社 長	勇 崎 恒 宏
副 会 長	(株) キ ョ ク イ チ	常 務 取 締 役	石 坂 仁
理 事	丸 果 函 館 合 同 青 果 (株)	専 務 取 締 役	勝 木 敏 孝
〃	帯 広 地 方 卸 売 市 場 (株)	常 務 取 締 役	高 橋 正 行
監 事	札 幌 ホ ク レ ン (株)	専 務 取 締 役	中 峰 武 雄

北海道市場における平成21年産  
福島県青果物販売の概況（果実・野菜）  
平成23年3月

編集・発行 福島県北海道事務所  
北海道札幌市中央区北1条西2丁目2番1号  
（北海道経済センター 5階）  
電話 011-241-8717 FAX 011-241-8719

※ この内容は、福島県北海道事務所のホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.pref.fukushima.jp/hokkaido/nourinsuisan.html>